令和元年８月４日（日）開催

千葉市 100 人未来会議

開催結果報告書

千葉市総合政策局総合政策部政策企画課

2019. 8

Ⅰ　「千葉市 100 人未来会議」について

１．開催目的

◆2023 年度から始まる新しい基本計画（市全体のまちづくりの方向性を示した計画）の策定に向けた市民参加のキックオフイベントとして、「千葉市の未来」について対話していただく、ワールドカフェ形式のワークショップ「千葉市 100 人未来会議」を開催しました。

※ワールドカフェとは、カフェのようなリラックスした雰囲気のなかで、参加者同士が席替えしながら対話し、議論を深めていく形式の体験型イベントです。

２．開催概要

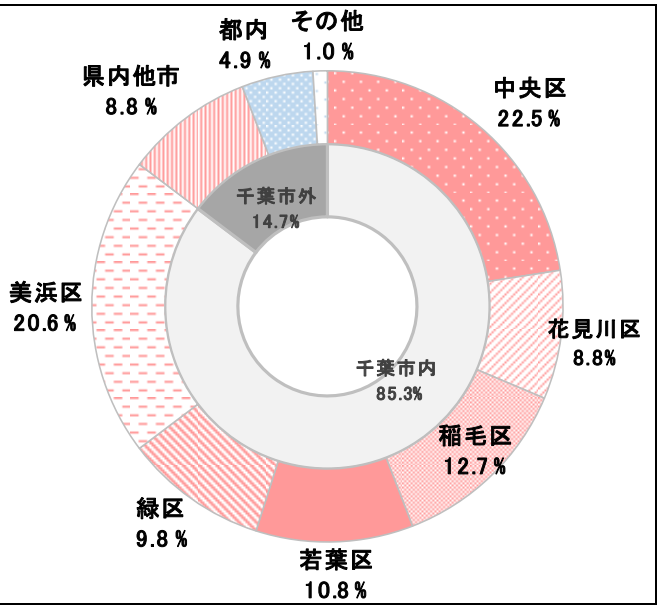
テーマ	未来の千葉市をこんなまちにしたい
開催日時	2019 年（令和元年）8 月 4 日　13 時 30 分～16 時 15 分
開催場所	ペリエホール RoomA、RoomB　（千葉市中央区新千葉 1 丁目 1 番 1 号）
対象	千葉市に在住、または通勤・通学している方
参加人数	102 名

３．参加者について

◆「千葉市 100 人未来会議」の応募対象者は、「15 歳以上の市内在住・在勤・在学の方」としました。129 名の方々から参加のお申込みをいただき、当日は市内の高校生から 85 歳まで、様々な年代から 102 名にご参加いただきました。

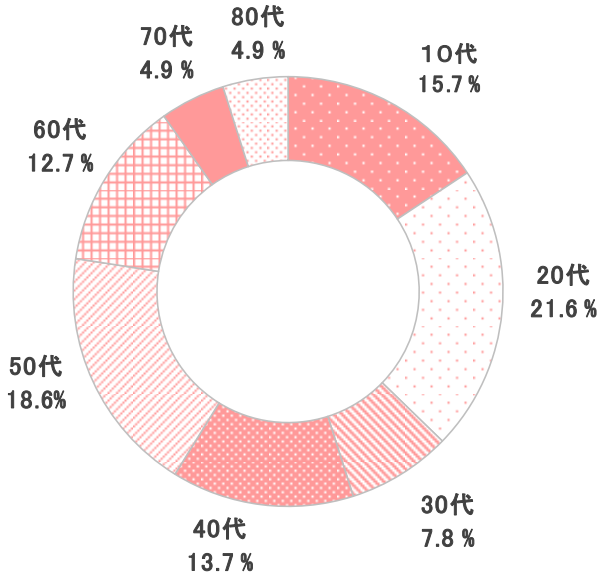
≪住所別参加者数≫

住所地	参加者数(人)	構成比(%)
千葉市	87	85.3
中央区	23	22.5
花見川区	9	8.8
稲毛区	13	12.7
若葉区	11	10.8
緑区	10	9.8
美浜区	21	20.6
県内他市	9	8.8
東京都	5	4.9
その他	1	1.0
合計	102	100.0



≪年齢別参加者数≫

年代	参加者数(人)	構成比(%)
10代	16	15.7
20代	22	21.6
30代	8	7.8
40代	14	13.7
50代	19	18.6
60代	13	12.7
70代	5	4.9
80代	5	4.9
合計	102	100.0



4．プログラム

13:30	熊谷市長の開会あいさつ
	オリエンテーション ファシリテーターを務めるつなぐみ合同会社代表の井上さんが、ワールドカフェの由来や対話のエチケット、当日のプログラム構成について説明しました。
	アイスブレイク
	熊谷市長によるインスピレーショントーク
14:00	テーブルごとの対話 問い①：あなたの好きな千葉市の場所 ＜席替え＞ 問い②：あなたが気に入っている千葉市の魅力 ＜席替え＞ ＜コーヒーブレイク＞ 問い③：私たちが望む「これから 20～30 年の千葉ライフ」
	千葉ライフ宣言 ＝ テーブルごとに決めた「これからの千葉ライフ」を発表
	ラウンド＆ハーベスト ＝ 他テーブルの話から得た気づきを自分のテーブルで共有
	個人ワーク ＝ 「私が望む未来の千葉ライフ」を各自が用紙に記入
	参加者全員で記念撮影
16:10	閉会

５．プログラム実施内容

アイスブレイク

- ４～５人が向かい合って座る 25 テーブルに円盤型の段ボール製テーブル「えんたくん」が配られ、各グループメンバーの膝の上に載せられました。
- 参加者はまずはグループ内で自己紹介を実施。手元の用紙に、「何をしている人」、「地元の好きなお店」、「今日の期待」の 3 点を記入して発表していただきました。お互いへの理解が深まり活発な対話に向けた準備が整いました。

インスピレーショントーク

- 千葉市の未来を語る参加者同士の対話を前に、会話のきっかけとなる「インスピレーショントーク」がありました。
- ここでは熊谷市長が登壇し、平成の約 30 年間を振り返り、この間に私たちの生活環境が大きく変化したこと、また足元で進んでいる AI の進展などの未来の生活を想像することが楽しくなるような情報が紹介されました。
  一方で、確実に進む人口の高齢化など、市が抱える課題についても改めて認識するきっかけとなりました。

問い①～問い③

【問い①：あなたの好きな千葉市の場所】

➢ 参加者がそれぞれ自分の好きな場所５か所を水色の付箋に記入し、「えんたくん」に貼りながら、選んだ理由やその場所にまつわる思い出を交えて話し合いました。

【席替え①】

➢ 各テーブルで「ホスト」を１名選び、残りのメンバーは他のテーブルに移動しました。

➢ 移動の際に、「問い①」で話し合った千葉市の好きな場所のうち、一番好きな場所（他のメンバーが話した場所でもＯＫ）を猫型の付箋に記入して次のテーブルに持っていきました。

【問い②：あなたが気に入っている千葉市の魅力】

➢ 新たなメンバー同士で、猫型付箋に書いた「一番好きな場所」について話し合いました。ホストは前のメンバーで話し合った内容を新たに移ってきたメンバーに説明しました。

➢ 続いて、「気に入っている千葉市の魅力」５ つを黄色の付箋に記入し、「えんたくん」に貼りながら理由や思い出を話し合いました。

【席替え②】

➢ 各自が「最も大切にしたい千葉市の魅力」をハート型付箋に記入し、ホスト１名を残して他テーブルに移動しました。

【コーヒーブレイク】

➢ コーヒー・お菓子でリフレッシュしながら、各々椅子の上に置かれた他テーブルの「えんたくん」を見学してまわりました。

【問い③：私たちが望む 20～30 年の千葉ライフ】

➢ 「最も大切にしたい千葉市の魅力」を書き込んだハート型付箋を持ち寄り、そこに共通するテーマからグループごとに未来に望む「△△△な暮らし」を決めて「えんたくん」中央に書き込みました。

➢ グループで決めた「△△△な暮らし」から、具体的な暮らしを妄想し、「えんたくん」に書き込みながら対話しました。

千葉ライフ宣言

- 「問い③」で話し合った「私たちが望むこれからの千葉ライフ」を、グループごとに発表者を決めて、参加者全員に向けて発表していただきました。

ラウンド&ハーベスト

- 各テーブルが説明役を１名残し、残りのメンバーは他テーブルを訪れ、「問い③」で話し合われた「私たちが望むこれからの千葉ライフ」について説明を受けました。
- 他テーブルで説明を受けた際に、「いいね！」やアドバイスを記入したピンク色の付箋を「えんたくん」に貼りました。
- 他テーブルの説明を受けて得た「気づき」を自分のグループに持ち帰り、自分のグループ内で話し合うことで、たくさんのテーブルの対話内容に触れることができました。

個人ワーク＆記念写真撮影

- これまでのグループ対話を踏まえ、参加者全員が個人単位で「私が望む未来の千葉ライフ」を下記の形式で記入しました。

私、「　　」が望む未来の千葉ライフ

	が、
	な暮らし

- プログラムの最後に、102 名の参加者全員が「私が望む未来の千葉ライフ」を記入した用紙を持ち、記念写真を撮影しました。

閉会

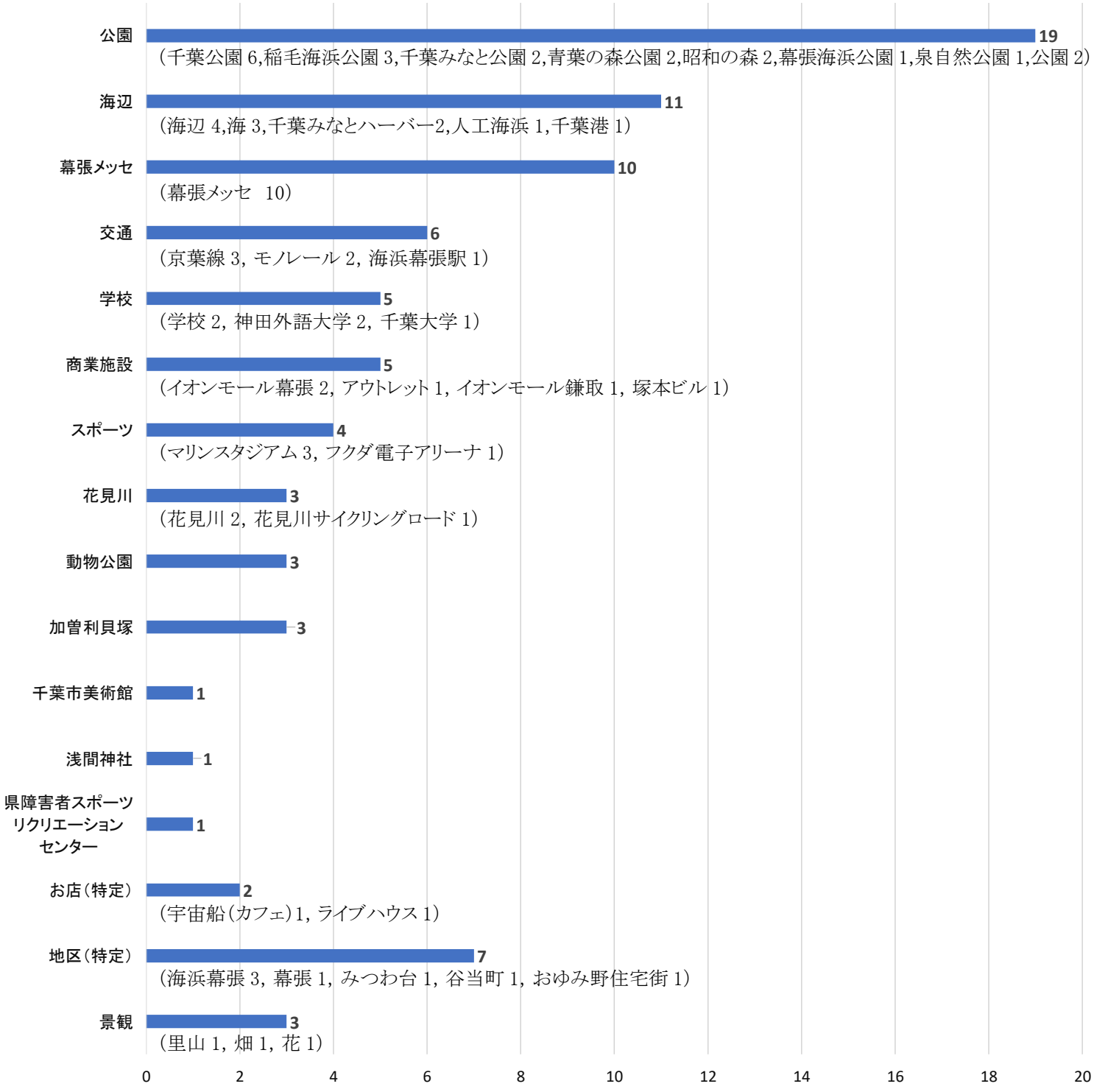
- 千葉市から、本日のワールドカフェへの参加とご協力について参加者のみなさまに御礼を申し上げるとともに、まちづくりへの市民参画プログラムとして今後の開催が予定されている「千葉市まちづくり未来研究所」について連絡させていただきました。
- ご参加いただきましたみなさん、誠に有難うございました。

Ⅱ　対話の内容

1．【問い①】「あなたの好きな千葉市の場所」の主な回答

◆「千葉公園」や「稲毛海浜公園」をはじめとした市内の公園を回答した人が最も多く、次に「海辺」、「千葉港」など海に関係する回答、次いで「幕張メッセ」など多くの人が訪れる施設を回答した人が多く見られました。

■対話を通じて猫型付箋に記入した「もっとも好きな千葉市の場所」の数



２．【問い②】「あなたが気に入っている千葉市の魅力」の主な回答

◆「自然」に関する魅力を挙げた回答が最も多く、次に「都会と自然または田舎とのバランス」、次いで「人柄」を魅力に感じている参加者が多く見られました。

（純回答数：92 ／（＊）：重複記載箇所）

魅力	付箋に記載された内容													
自然	自然が多い	自然が多い	自然がたくさんあること	自然	みんなが楽しめる自然	大きな公園や自然	みどり	花とみどり	公園	海と緑	海	海	里山	自然と環境	気候が温暖
	自然を残してほしい	自然を守る	自然を守ること	自然を大切に	海も山も自然が豊富	海と山が豊富なところ	少しいけば自然がたくさんある	自然とのかかわり	自然とのつながり	人柄と自然（＊）	人柄と自然（＊）	住みやすさと自然（＊）	都心にはない自然と親切さあわただしくない（＊）		
都会と自然または田舎とのバランス	都会も自然もある	都会と自然のコントラスト	都会と自然のコントラスト	自然と都市生活を共有	都会的な面と自然豊かな面	自然も多く残っているのに交通の便が良い	自然が多く交通の便が良い	緑と町のバランス	農的空間と都市バランス	海を活かし人の集まる町になるとよい	自然と都会 海・山・工業がある				
	都会と田舎	都会と田舎がある	都会といなかが同居	都会過ぎずいなか過ぎず	ほどほどに田舎	都会と田舎双方の魅力									
人柄	ゆったりした人間性	おだやかな人柄	人の寛容さ	ローカルと人情	おだやかな人が多い	ゆったりした人間性　人情	利他の心 その人らしさを尊重	田舎らしさ 地域のつながり	地域性と人の距離感	昔の仲間がいる	都心にはない自然と親切さあわただしくない（＊）	人柄と自然（＊）	人柄と自然（＊）		
住みやすさ	住みやすさ	住みやすい	住みやすい	住みやすいところ	過ごしやすい	住みやすいこと	住みやすさと自然（＊）								
利便性	利便性	アクセスのよいちょうどよい都市	交通の便が良い	東京に近い	いろんなものがそろっている										
歴史文化	千葉3大文化	埋立地の歴史	新しいことに取り組みつつ自然や古くからあるものを大切にする	市の文化を支え合い											
レジャー関係	自然が豊かでアクティブなレジャーも楽しめる	新しいイベントをたくさん呼びこむ	いろんな人が来る	ディズニーに近い											
子育て・教育	子育て支援多くの学校	総合大学も専門的な大学もある	こども、若者、ファミリーを大切												
農作物	農作物があり千葉港もある	農作物が豊富なところ	落花生を食べたい												
人口規模	人口	人が少ない													
その他	交通事故を無くして	モノレールをうまく使えるようにして	若い市長の時代に合ったリーダーシップ	ロッテマリーンズ日本一	エコな暮らし	区画が広いきれい	商店街	魅力がたくさんあるところ	ふるさと	バランスのよさ（多様性）	みなが活躍できる	ちょうどいい			

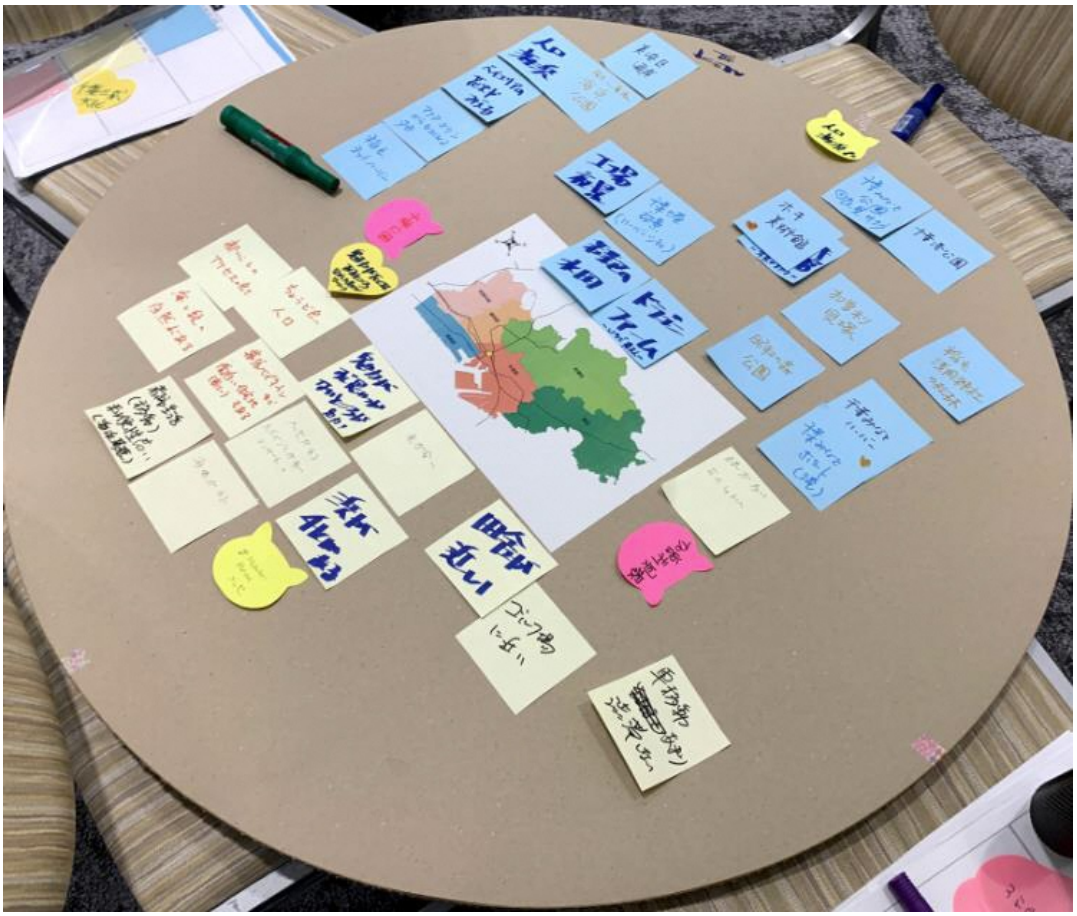
※記載方法：文章の中に複数の魅力が含まれている場合は、それぞれの魅力にカウント
重複する記載をした魅力には（＊）を付記
例）人柄と自然　⇒　『人柄』と『自然』にそれぞれ記載

（参考）【問い①】～【問い②】までの回答付箋が貼られた各テーブル（全２５テーブル）

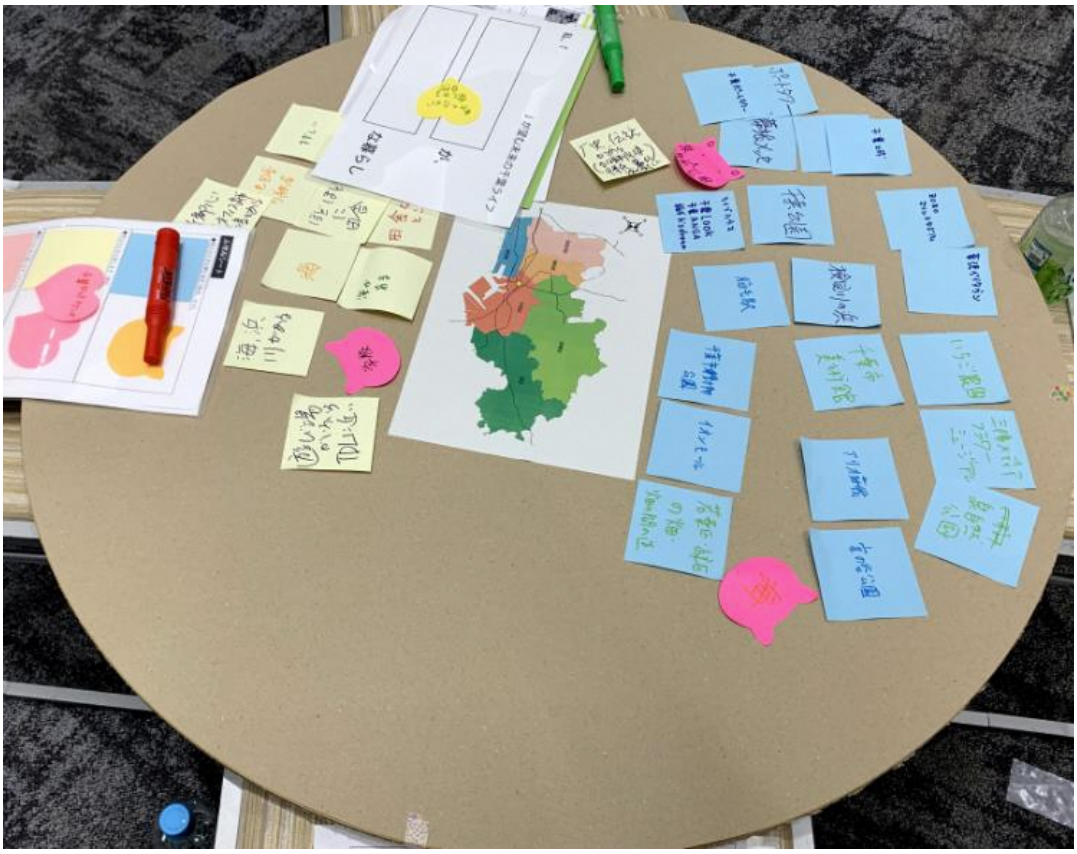
千葉公園
スポーツセンター
きぼーるプラネタリウム
モノレール

千葉市中央図書館
ポートタワー
千葉港
千葉駅周辺
千葉大学
広々
自然
ゴルフ場

千葉公園
花島公園
花見川
製鉄所
千葉駅
市原小みなと鉄道
花園
加曽利貝塚
幕張
ランニングコース
幕張
土気
ゴルフ場
ポートタワー
海が近くにある
自然が多い
ディズニーに近い

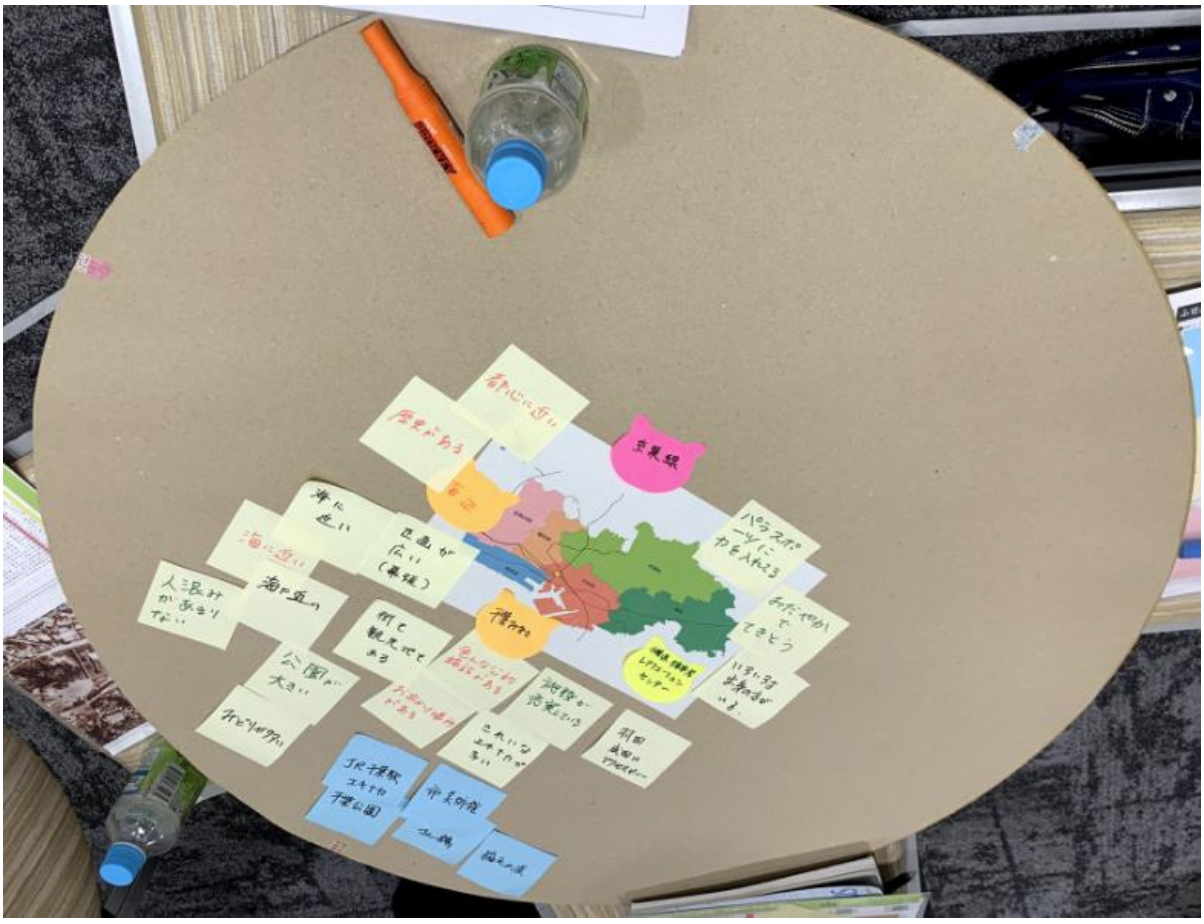

ゴルフ場に近い

千葉ライフ



市長が若いので発想も若い(と思う)
行政サービス(ゴミ回収など)がしっかりしている。
人がやさしい
ふせんシート

千葉神社
千葉公園
しぜんが多い。
便利
交通の便バス。
安心かん
おいしいものがたくさんある
スポーツがさかん
人付合い
悪い人がいない
ふせんシート



ポートパーク
千葉動物公園
いまでや
(千葉駅内)
生実池ハス
海浜募張
sakebase
(西千葉)
2020マリン
コストコ千葉
イオン
幕張新都心

多様性
埋め立て地
すばらしい美術館
コミュニティセンター
アクアリンクちば
ポートパーク
千葉駅
海浜幕張
里山
何でも揃っている
通勤にへんりである
環境

ふせんシート
サイゼリヤ
伝説のすた丼や
海と山が豊富なところ

千葉駅
海浜
幕張駅
幕張
海浜公園
幕張の海
シタール

３．【問い③】「私たちが望む『これから 20～30 年の千葉ライフ』」～
【個人ワーク】「自分が望む未来の千葉ライフ」

◆【問い③】の「これから２０～３０年の千葉ライフ」に関する対話では、「自然」や「ゆとり」、「バランス」といったキーワードが多く見られました。

（１）テーブルごとに描いた「私たちが望む『これから 20～30 年の千葉ライフ』」一覧

テーブルNo.	メンバー数	テーブルごとの「私たちが望む『これから20～30年の千葉ライフ』」
①	4	生活圏が住みやすい千葉市
②	4	自然が豊かで安全で便利な暮らし
③	4	ゆとりのある暮らし　千葉市
④	4	ゆとりのある暮らし
⑤	4	先進的だけど自然も豊か
⑥	4	自然と共生する暮らし！！（歴史風情も）
⑦	4	自然と都会の中で人が協調し合える楽しい暮らし
⑧	4	めざせ200万都市　　みんながワクワクする暮らし！
⑨	4	都市と田舎のバランスがある「豊かな」暮らし
⑩	4	住みやすい
⑪	4	都会と自然のバランスがよく　みんながのびのびとできるような暮らし
⑫	4	①ほどほど田舎な(だけど住みやすい)　②どの世代も「安心」して暮らせる
⑬	4	住みやすい街（住みたい街）
⑭	5	共生・多様性のあるまち
⑮	4	緑と空気　町のバランス
⑯	4	有形無形の文化、自然を大切にする暮らし
⑰	4	バランスの良い暮らし
⑱	4	多様なあきない暮らし
⑲	5	ひとりひとりにやさしい暮らし
⑳	4	自然が支える人間らしい暮らし
㉑	5	誰もが楽しめるような暮らし
㉒	4	人と人　人と自然が調和した暮らし
㉓	3	住みやすく　自然豊かな暮らし
㉔	4	世代がつづいていくくらし
㉕	4	夢と誇り
合計	102	

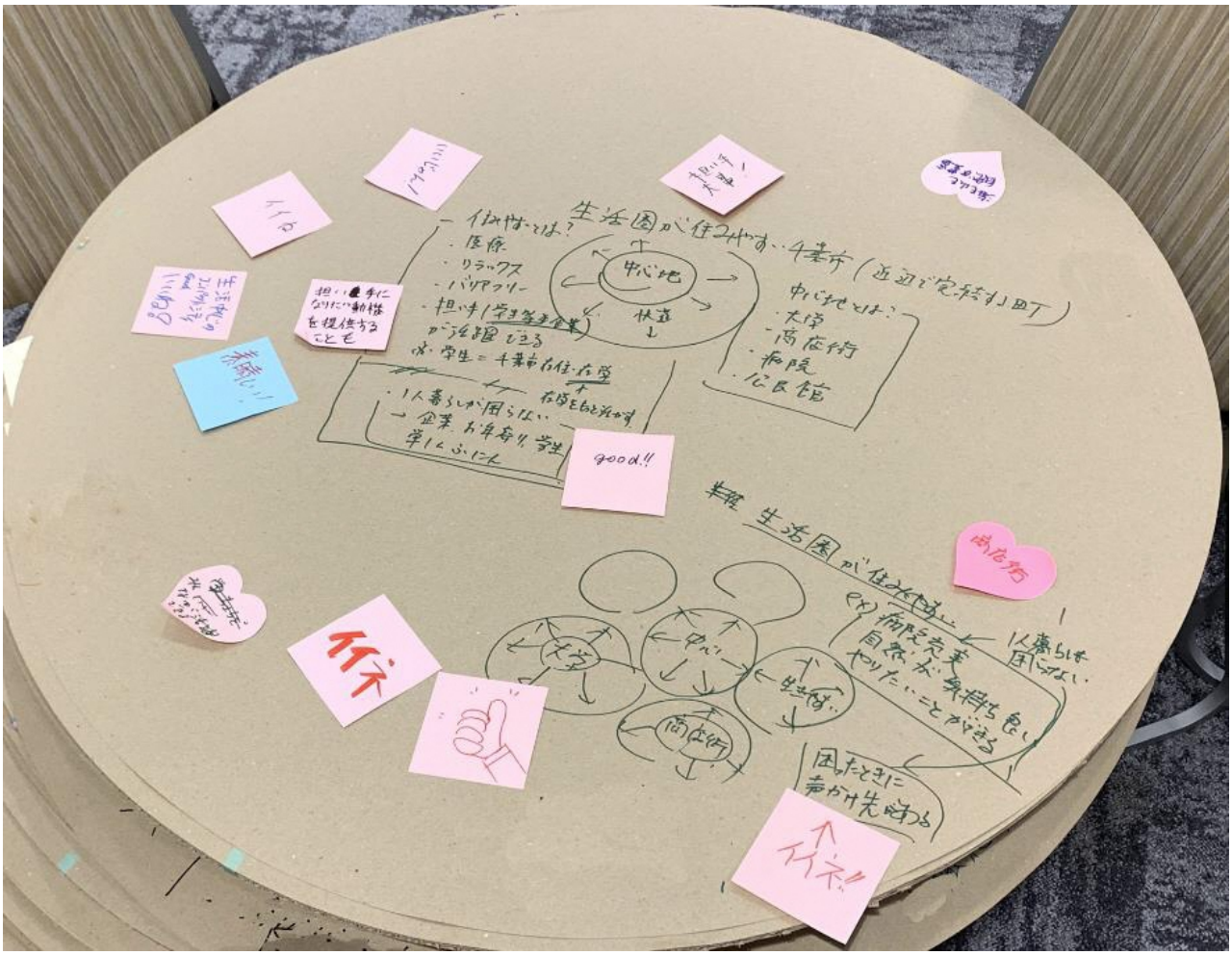
（２）個人ワーク「〇〇が、▲▲な暮らし」で取り上げられたキーワード集計結果

◆【個人ワーク】では、「自然豊か」や「住民間交流」、「楽しい・わくわく」といったキーワードが最も多く、次いで「ゆとり」や「心豊か」、「安心・安全」、「生活環境」、「多様性」に関するキーワードが多く見られました。

テーブルNo.	メンバー数	テーブルごとの「私たちが望む『これから20～30年の千葉ライフ』」	個人ワーク「自分が望む千葉ライフ」で取り上げられたキーワード集計結果																
			自然豊か	ゆとり	心豊か	健康	生活利便	都会	物質豊か	仕事充実	先進的	住民間交流（含協調）	世代間交流	市政参加	多様性	寛容	自由	安心・安全	楽しい・わくわく	歴史・文化・伝統
①	4	生活圏が住みやすい千葉市				1	1		1			1		1					
②	4	自然が豊かで安全で便利な暮らし	2			1	3											3		
③	4	ゆとりのある暮らし　千葉市		4	1				1											
④	4	ゆとりのある暮らし		2	1												2		1	
⑤	4	先進的だけど自然も豊か	3	2			1				3									
⑥	4	自然と共生する暮らし！！（歴史風情も）	2		1	2				1					1				1	2
⑦	4	自然と都会の中で人が協調し合える楽しい暮らし	2				1	1				1			1				1	
⑧	4	めざせ200万都市 みんながワクワクする暮らし！					2											2	2	
⑨	4	都市と田舎のバランスがある「豊かな」暮らし					1					1	1		1					
⑩	4	住みやすい			1						1	1				1	1			1
⑪	4	都会と自然のバランスがよく　みんながのびのびとできるような暮らし	3	3		1		3				1					1		3	1
⑫	4	①ほどほど田舎な(だけど住みやすい) ②どの世代も「安心」して暮らせる	1	1	1		1											2		
⑬	4	住みやすい街（住みたい街）			1							3			1				2	
⑭	5	共生・多様性のあるまち			1				1	1		3			2	2			1	
⑮	4	緑と空気　町のバランス	2			1	1		1			1		1				1	2	1
⑯	4	有形無形の文化、自然を大切にする暮らし	3			1					1			1	2				1	2
⑰	4	バランスの良い暮らし	1						1			1		1					1	
⑱	4	多様なあきない暮らし			1				1	1		1			1	1	1			
⑲	5	ひとりひとりにやさしい暮らし			2				1							1		2		
⑳	4	自然が支える人間らしい暮らし	1									3			1				2	
㉑	5	誰もが楽しめるような暮らし				1						1					1	2	2	
㉒	4	人と人　人と自然が調和した暮らし	3	1	1							3								
㉓	3	住みやすく　自然豊かな暮らし			1												1		1	
㉔	4	世代がつづいていくくらし		1		1						2	4		1	1			2	
㉕	4	夢と誇り			2				1							1				
合計	102		23	14	14	9	11	4	8	3	5	23	5	4	11	7	7	12	22	7

（３）【問い③】対話後の“えんたくん”（全２５テーブル）、および【個人ワーク】（102 名）

＜テーブル①＞



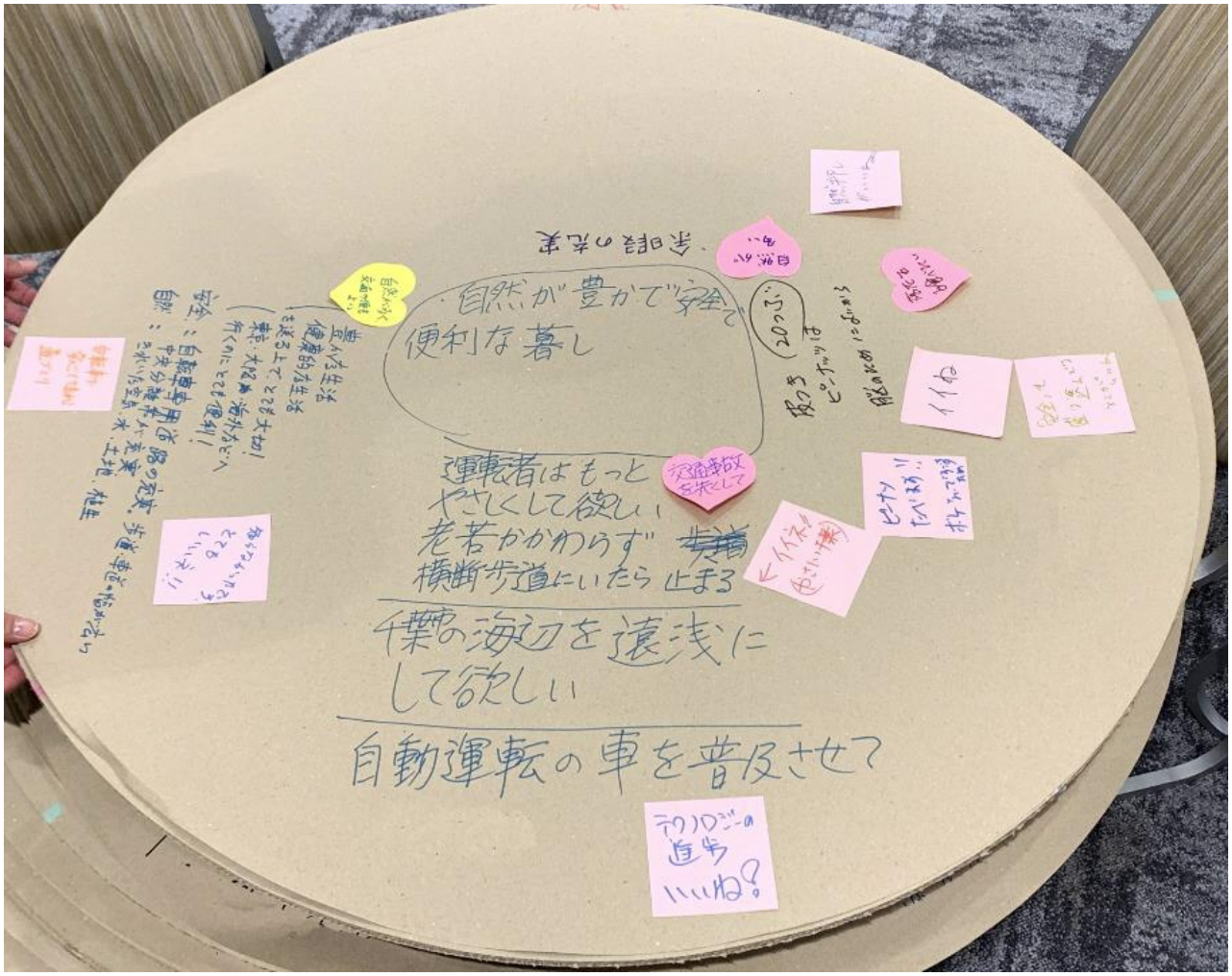
★テーブルメンバーに共通する 「私たちが望む『これから20～30年の千葉ライフ』」

生活圏が住みやすい千葉市（近辺で完結する町）

★メンバー個人ごとの「自分が望む未来の千葉ライフ」

メンバー①	「	**千葉市にゆかりのある人**	」が 「	**千葉市を支え盛り上げる　温か**	」な暮らし
メンバー②	「	**困り事**	」が 「	**気軽に発信・サポートできるよう**	」な暮らし
メンバー③	「	**（千葉市民と）自分**	」が 「	**健康で豊か**	」な暮らし
メンバー④	「	**千葉市に住んでいる人**	」が 「	**1人でも不自由なく生活ができるよう**	」な暮らし

＜テーブル②＞



★テーブルメンバーに共通する 「私たちが望む『これから20～30年の千葉ライフ』」

自然が豊かで安全で便利な暮らし

★メンバー個人ごとの「自分が望む未来の千葉ライフ」

メンバー①	「	**車を運転する人がやさしくなって、交通事故**	」が	「 **少なくなる**	」な暮らし
メンバー②	「	**自然**	」が	「 **豊かで、安全で便利**	」な暮らし
メンバー③	「	**自然**	」が	「 **豊かで、人々が健康で安心でき、社会的に安全で便利**	」な暮らし
メンバー④	「	**何世代にとっても、**	」が	「 **便利で快適**	」な暮らし

＜テーブル③＞

★テーブルメンバーに共通する 「私たちが望む『これから20～30年の千葉ライフ』」

ゆとりのある暮らし　千葉市

★メンバー個人ごとの「自分が望む未来の千葉ライフ」

メンバー①	「	**色々な世代**	」が 「	**経済的、時間的、環境的にゆとりがあり、バランスが豊か**	」な暮らし
メンバー②	「	**色々な世代の人**	」が 「	**気持ち良く　ゆとりのある生活できるよう**	」な暮らし
メンバー③	「	**空間**	」が 「	**たくさんある**	」な暮らし
メンバー④	「	**時間・空間**	」が 「	**ゆとりを持てて豊か**	」な暮らし

＜テーブル④＞

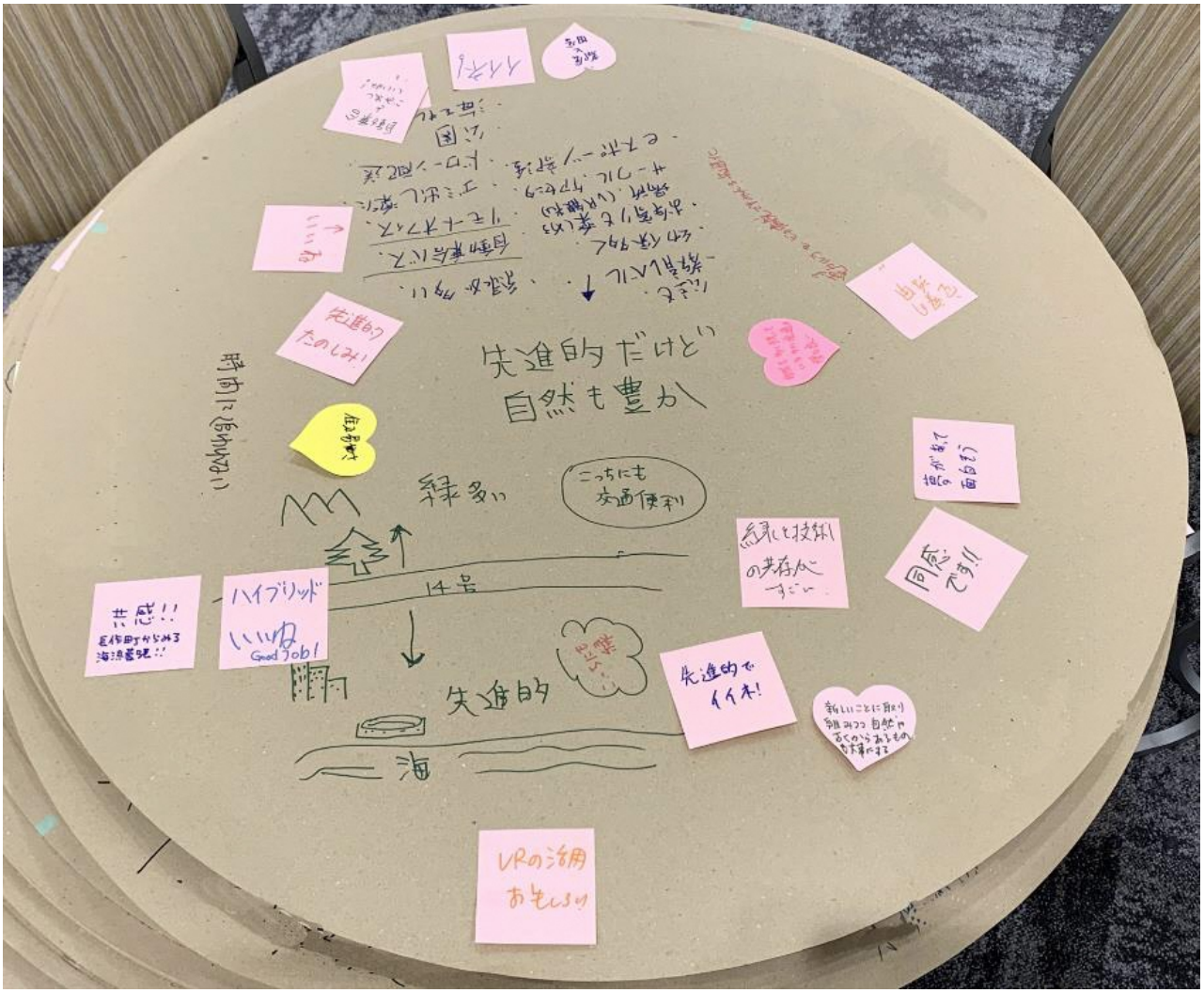
★テーブルメンバーに共通する 「私たちが望む『これから20～30年の千葉ライフ』」

ゆとりのある暮らし

★メンバー個人ごとの「自分が望む未来の千葉ライフ」

メンバー①	「	**様々な立場の人**	」が	「	**ゆとりを持って、やりたいことが できるよう**	」な暮らし
メンバー②	「	**世代や出身地に関わらず、 すべての人**	」が	「	**余裕をもって　日々をenjoyできるよう**	」な暮らし
メンバー③	「	**住む人みんな**	」が	「	**心豊かであったか**	」な暮らし
メンバー④	「	**千葉に住む人 （年齢、性別、出身に限らず）**	」が	「	**自分の自由な時間を満喫できるよう**	」な暮らし

＜テーブル⑤＞



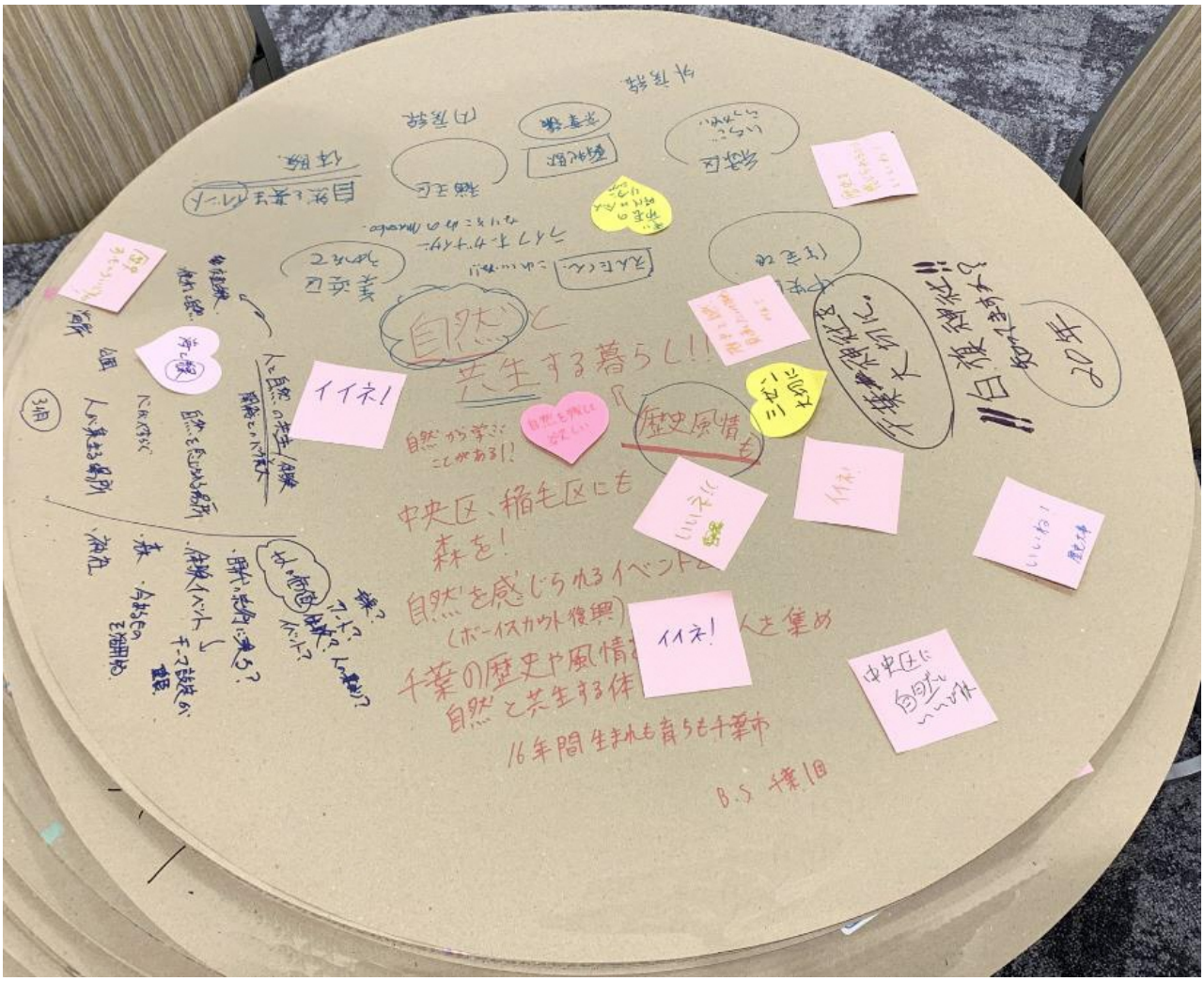
★テーブルメンバーに共通する 「私たちが望む『これから20～30年の千葉ライフ』」

先進的だけど自然も豊か

★メンバー個人ごとの「自分が望む未来の千葉ライフ」

メンバー①	「	**生活・ビジネス**	」が 「	**調和のとれた　先進的かつ自然豊か**	」な暮らし
メンバー②	「	**全ての世代**	」が 「	**ゆとりを持って、先進的さと自然が共存する町で過ごす豊か**	」な暮らし
メンバー③	「	**みんな（全ての世代）**	」が 「	**便利でほっとできる様**	」な暮らし
メンバー④	「	**千葉市民（全ての世代）**	」が 「	**先進的だけど自然も豊か**	」な暮らし

＜テーブル⑥＞



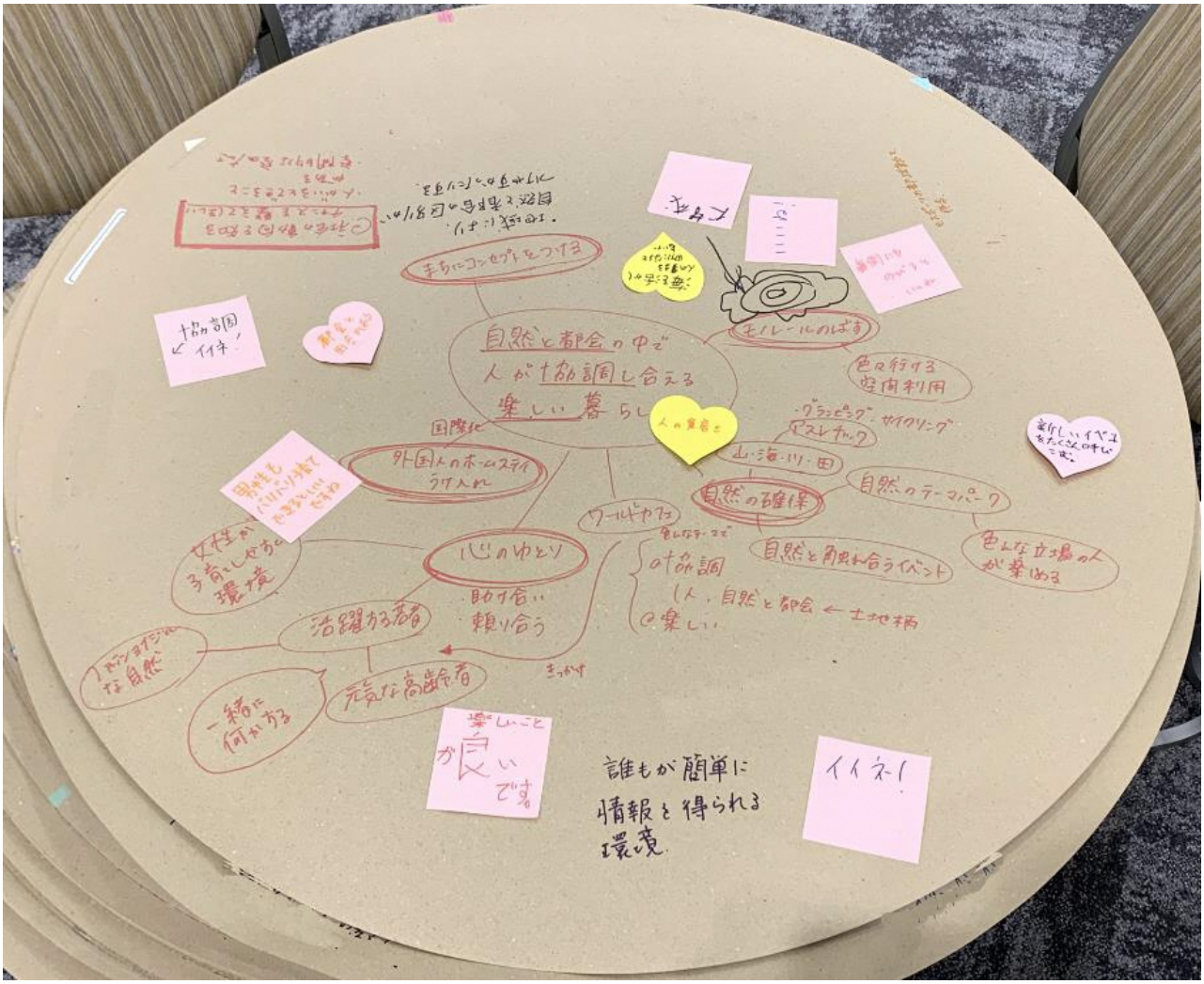
★テーブルメンバーに共通する 「私たちが望む『これから20～30年の千葉ライフ』」

自然と共生する暮らし！！（歴史風情も）

★メンバー個人ごとの「自分が望む未来の千葉ライフ」

メンバー①	「	**老若男女、障がいがあろうが なかろうが**	」が	「	**自分らしく 自分の価値を知り、 Wak Wakな日々（健康大事） スキルとスキルの交換で共にすごす**	」な暮らし
メンバー②	「	**年を取っても仕事**	」が	「	**出来る、健康**	」な暮らし
メンバー③	「	**来客者、市民、県民、 全ての人（年含む）**	」が	「	**自然と歴史を感じることのできる、豊か**	」な暮らし
メンバー④	「	**関わる全ての人 （住民・観光客etc…）**	」が	「	**自然を感じながら 歴史を学べる様**	」な暮らし

＜テーブル⑦＞



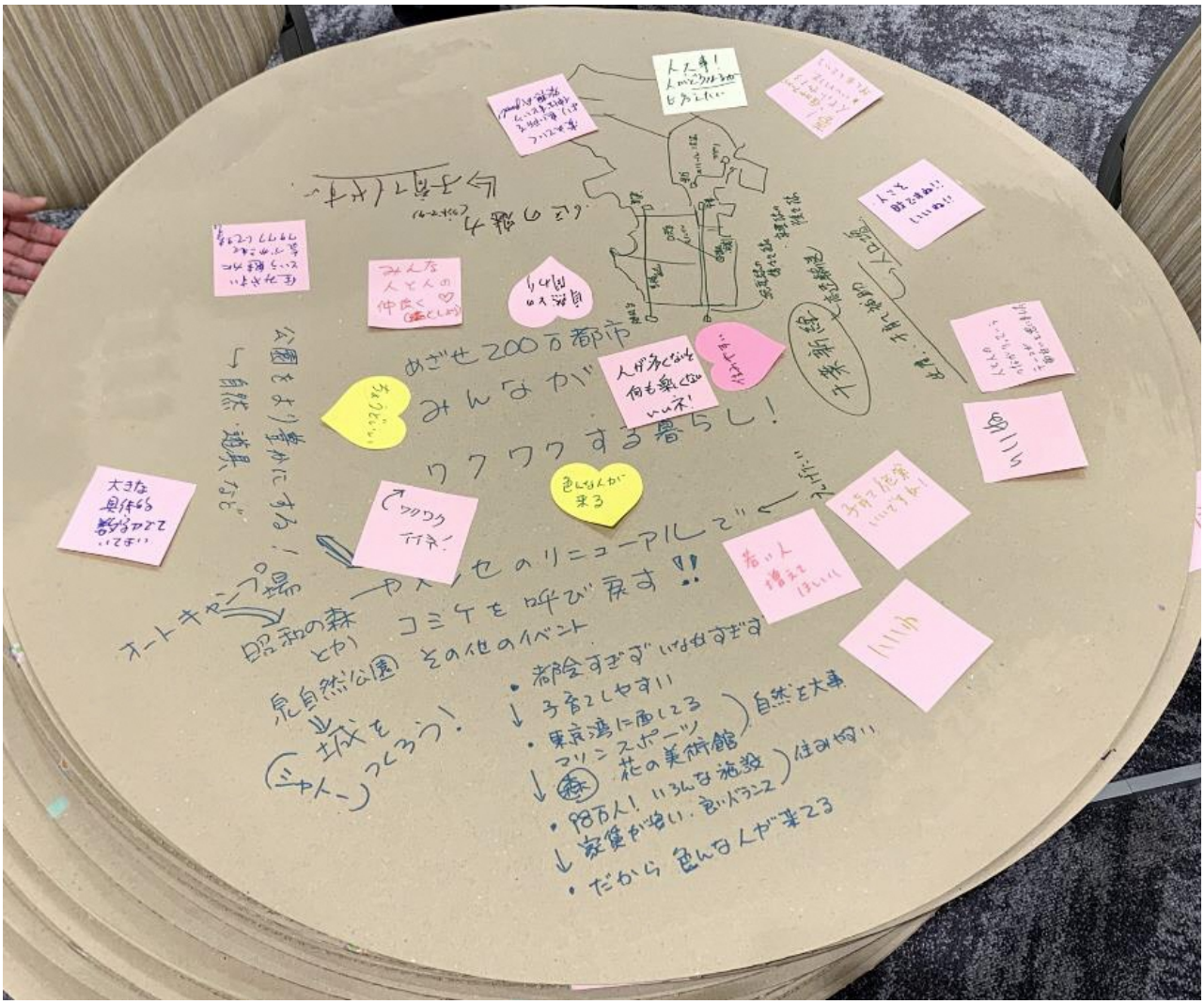
★テーブルメンバーに共通する 「私たちが望む『これから20～30年の千葉ライフ』」

自然と都会の中で人が協調し合える楽しい暮らし

★メンバー個人ごとの「自分が望む未来の千葉ライフ」

メンバー①	「	**千葉市民の良さ**	」が	「	**自然とともに受け継がれる**	」な暮らし
メンバー②	「	**全ての人**	」が	「	**より良い快適**	」な暮らし
メンバー③	「	**自然と都会**	」が	「	**共存できるよう**	」な暮らし
メンバー④	「	**国籍、人種、性別などが異なる 色々な人たち**	」が	「	**協調し合える　楽しい**	」な暮らし

＜テーブル⑧＞



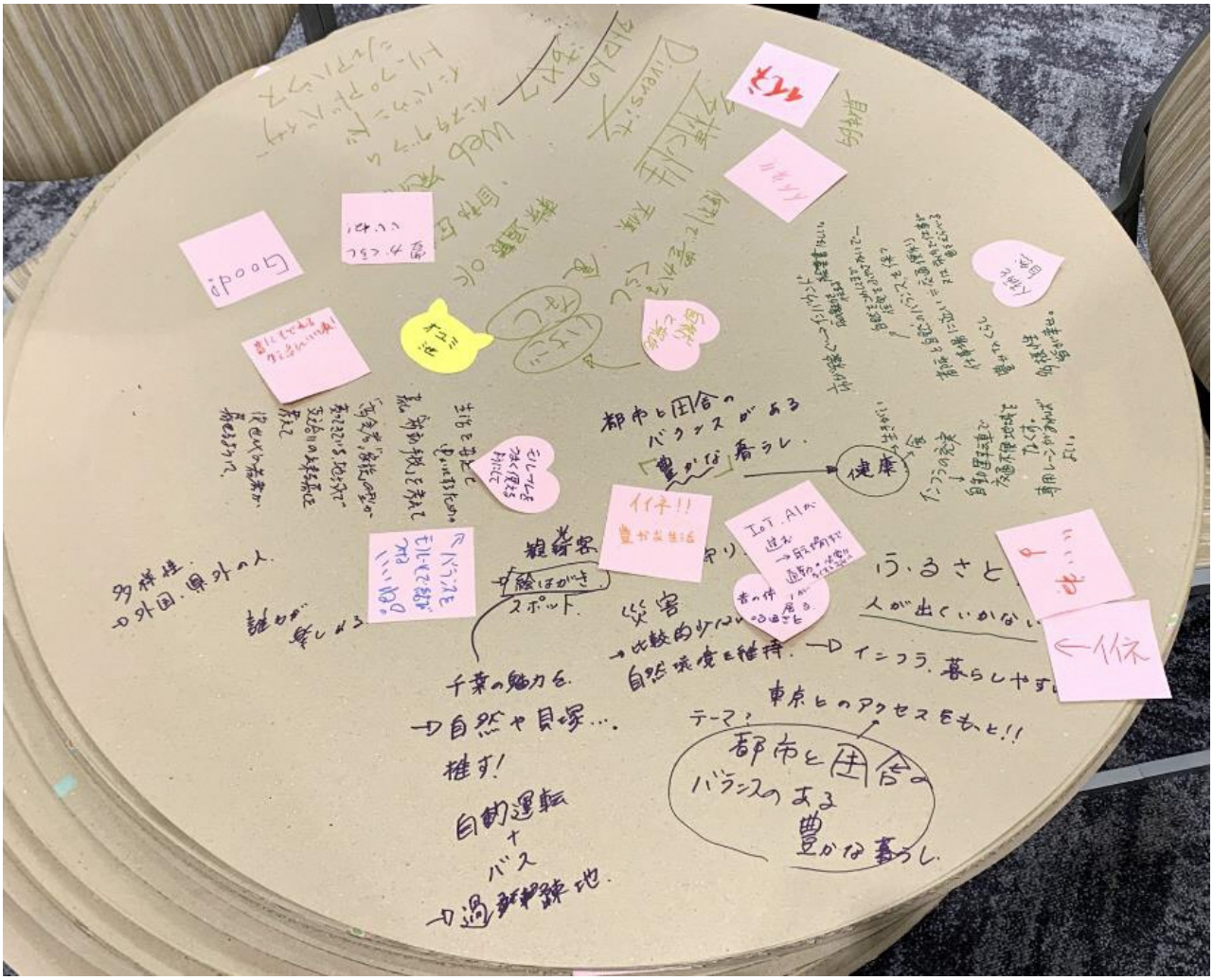
★テーブルメンバーに共通する 「私たちが望む『これから20～30年の千葉ライフ』」

めざせ200万都市　　みんながワクワクする暮らし！

★メンバー個人ごとの「自分が望む未来の千葉ライフ」

メンバー①	「	**老若男女、あらゆる世代、人種・趣味など違ってもみんな**	」が 「	**人生の最期のしゅん間まで納得できる、楽しめる、つまりは安心・安全な場所でワクワクする、できるよう**	」な暮らし
メンバー②	「	**小さな子供から年配の方まで　幅広い年齢層の方**	」が 「	**快適で魅力的だと思えるよう**	」な暮らし
メンバー③	「	**どんな世代（若者、おとしより、車イスの方など）も**	」が 「	**安心とワクワクを感じる（バリアフリー、遊べるなど）**	」な暮らし
メンバー④	「	**全ての市民（200万人）**	」が 「	**充実した交通インフラを利用できる**	」な暮らし

＜テーブル⑨＞



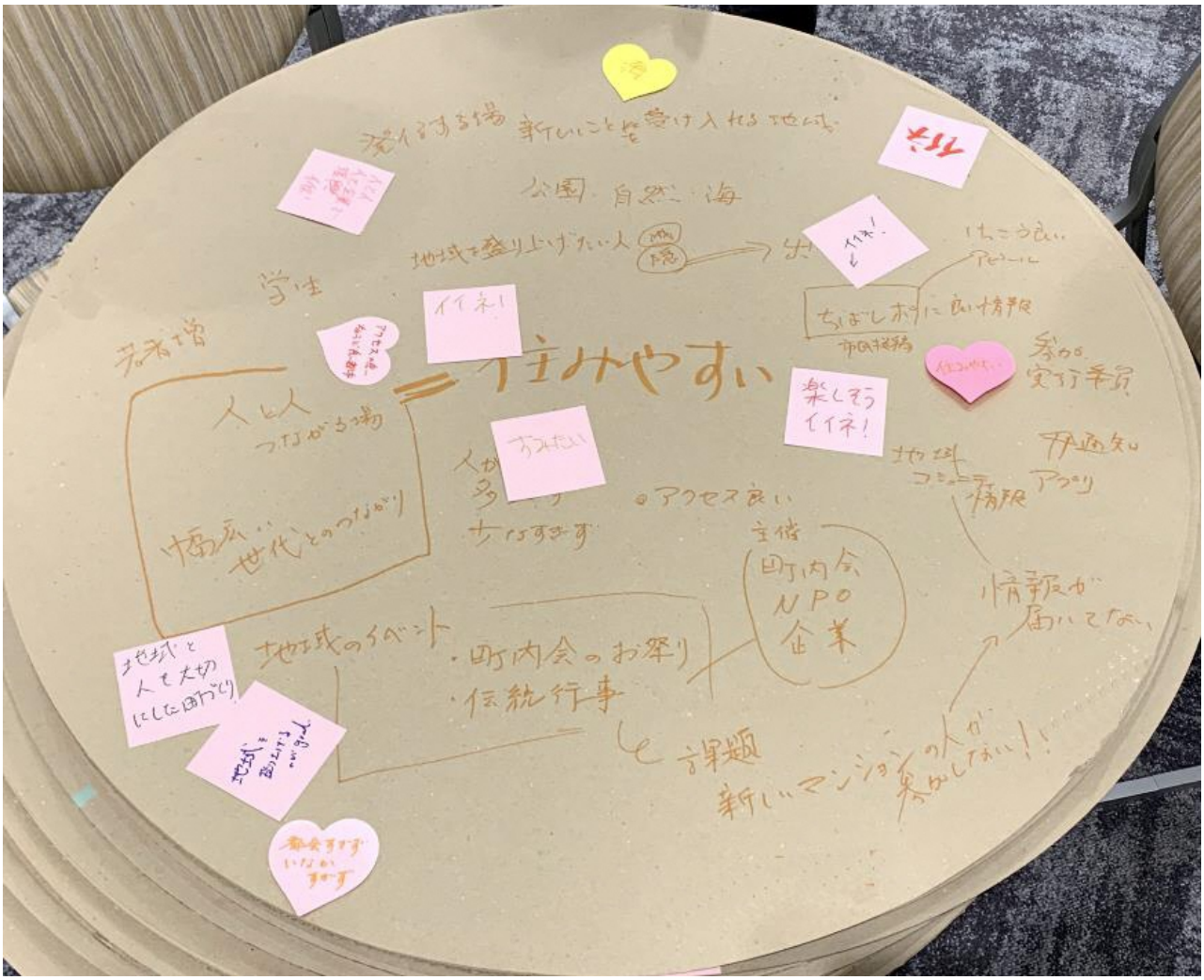
★テーブルメンバーに共通する 「私たちが望む『これから20～30年の千葉ライフ』」

都市と田舎のバランスがある「豊かな」暮らし

★メンバー個人ごとの「自分が望む未来の千葉ライフ」

メンバー①	「	**家族・友人・色んな人**	」が	「	**いつでも会えるような暖か**	」な暮らし
メンバー②	「	**今の時代の求めている コンパクト・シティを千葉市**	」が	「	**どんなデザインをしているのかききたい**	」な暮らし
メンバー③	「	**家族　市民と外国人**	」が	「	**共に生きる　多様性のある**	」な暮らし
メンバー④	「	**住んでいる人誰も**	」が	「	**ここで生き続けたいと思えるよう**	」な暮らし

＜テーブル⑩＞



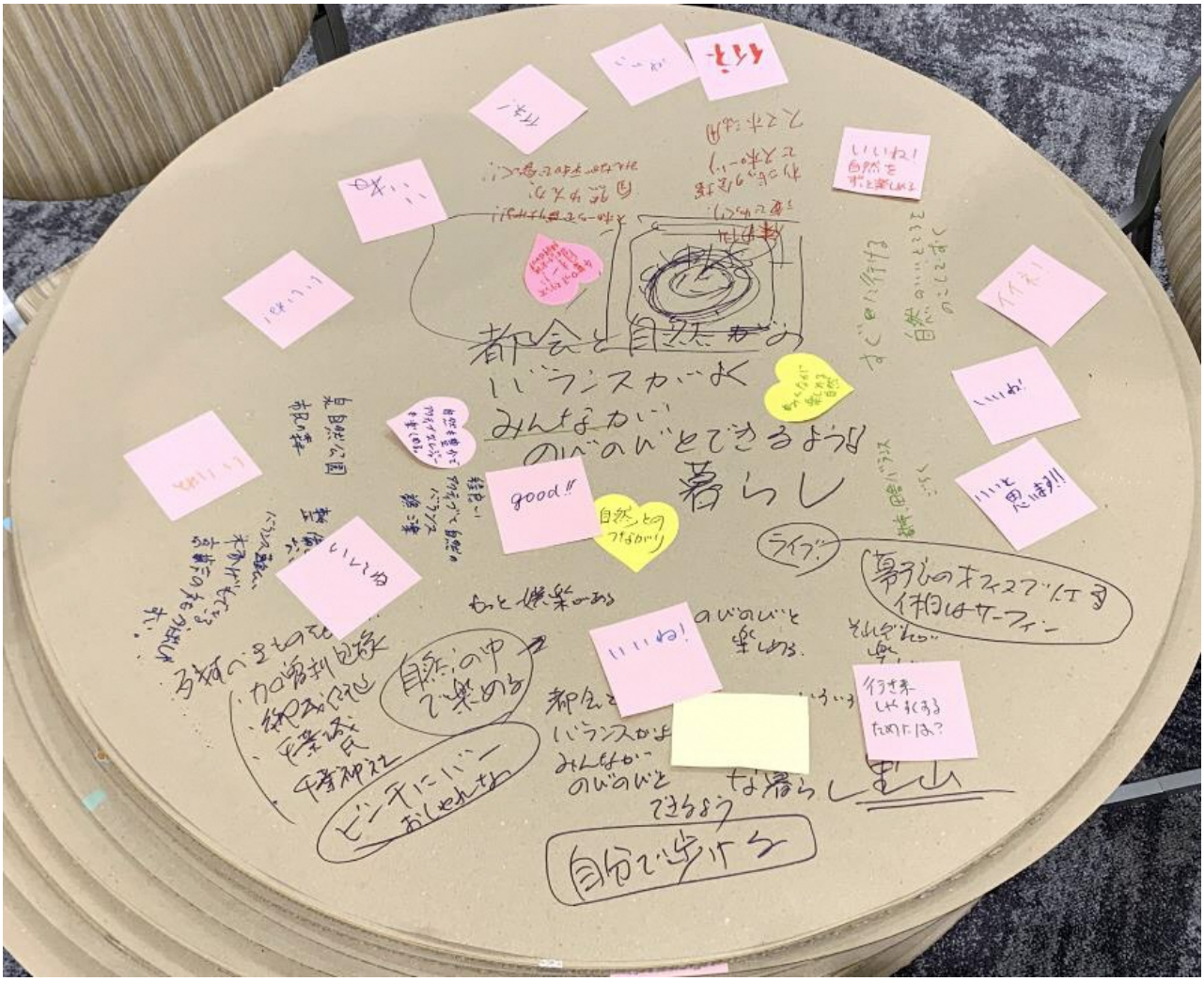
★テーブルメンバーに共通する 「私たちが望む『これから20～30年の千葉ライフ』」

住みやすい

★メンバー個人ごとの「自分が望む未来の千葉ライフ」

メンバー①	「	**誰も**	」が	「	**「幸せに暮らしましたとさ」と 生ききれるよう** 」な暮らし
メンバー②	「	**幅広い世代**	」が	「	**協力してまちを笑顔にできるよう** 」な暮らし
メンバー③	「	**何か発信・発表したい人々**	」が	「	**自由に表現する　地域が寛容** 」な暮らし
メンバー④	「	**伝統と最新技術**	」が	「	**融合してつくり出す　住みやすい** 」な暮らし

＜テーブル⑪＞



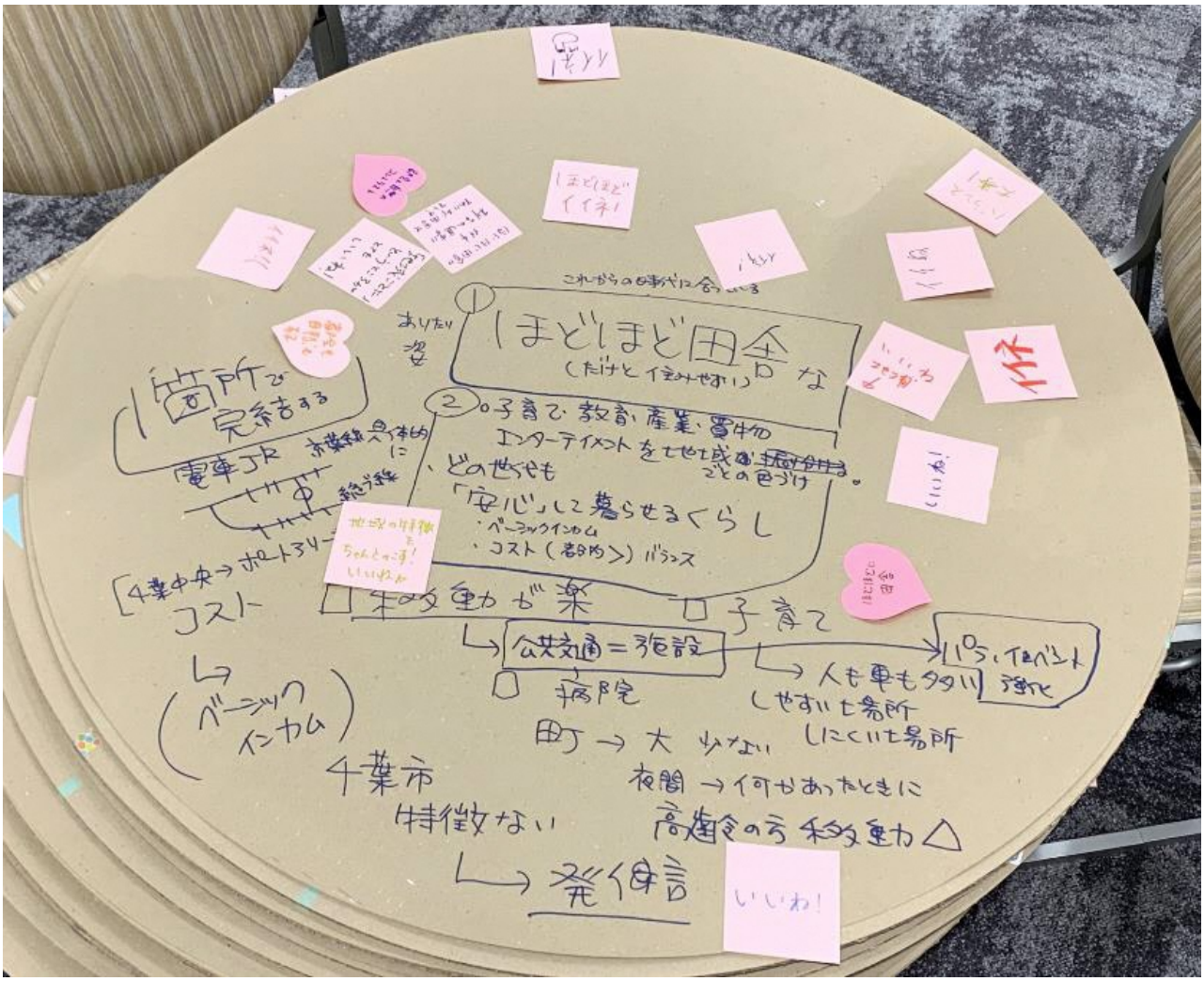
★テーブルメンバーに共通する 「私たちが望む『これから20～30年の千葉ライフ』」

都会と自然のバランスがよく みんながのびのびとできるような暮らし

★メンバー個人ごとの「自分が望む未来の千葉ライフ」

メンバー①	「	**千葉市民だけでなく、千葉市に来るすべての人**	」が	「	**自分のしたいことがすぐ近くにあるよう**	」な暮らし
メンバー②	「	**自然と都会のバランスがよいという長所をのばしつつ、歴史観も残し、市民だけではなく訪れた皆**	」が	「	**多様な楽しみができつつ のびのびとできるよう**	」な暮らし
メンバー③	「	**全世代の人々**	」が	「	**都会と自然の中でのびのびと楽しく元気に平和で仲良くできるよう**	」な暮らし
メンバー④	「	**千葉市に住む人、来る人みんな**	」が	「	**自然と都会のバランスの中で のびのびと楽しくすごせるよう**	」な暮らし

＜テーブル⑫＞



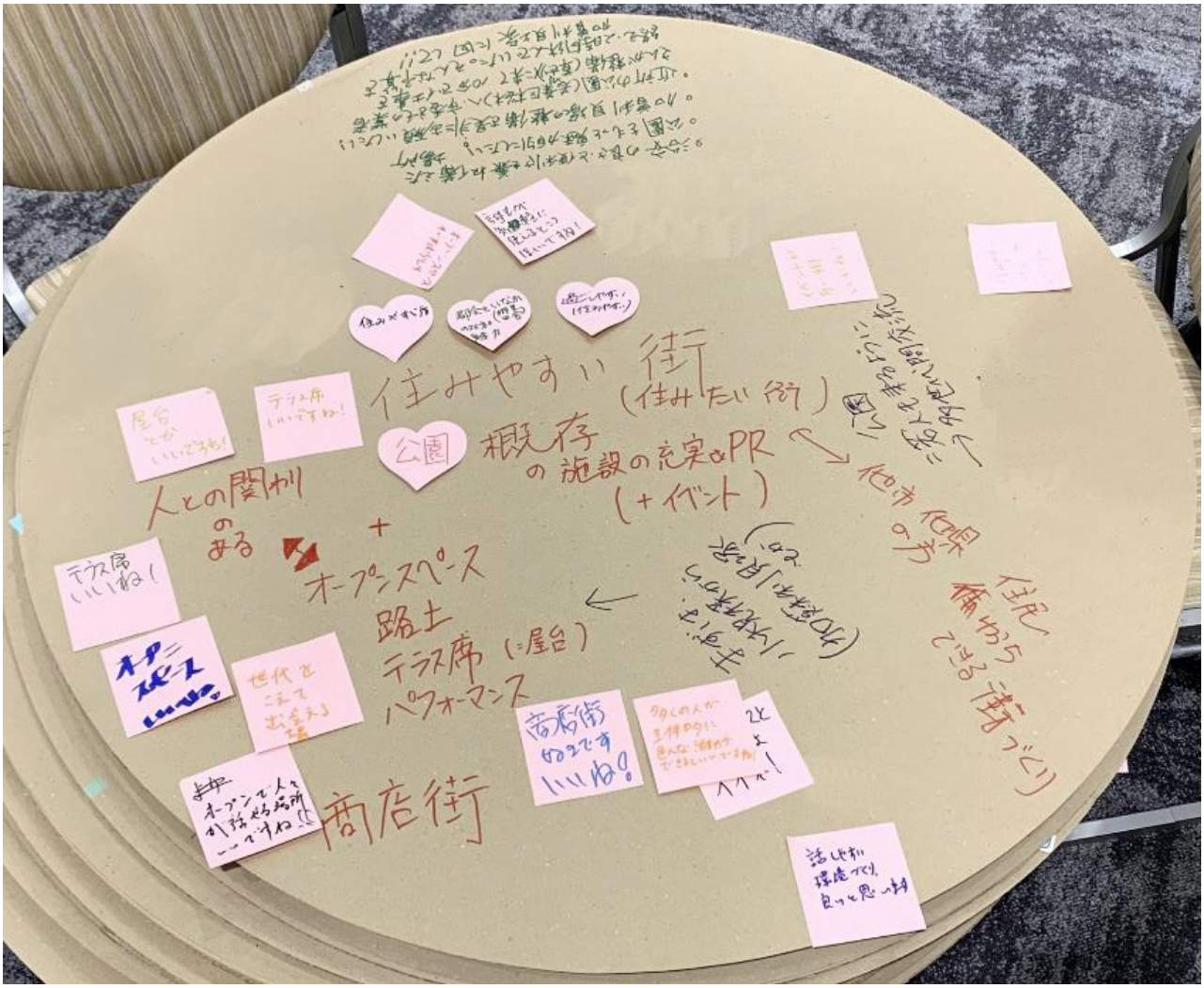
★テーブルメンバーに共通する 「私たちが望む『これから20～30年の千葉ライフ』」

①ほどほど田舎な（だけど住みやすい）　②どの世代も「安心」して暮らせる

★メンバー個人ごとの「自分が望む未来の千葉ライフ」

メンバー①	「	**多様な方々**	」が	「 **千葉市の自然と便利さを生かした安心**	」な暮らし
メンバー②	「	**みんな（住んでる人　・住んでない人・人外（ペットとかetc）**	」が	「 **千葉市に来ることで安心できる**	」な暮らし
メンバー③	「	**千葉市を訪れる全ての人々　千葉市に住む全ての人々**	」が	「 **次世代を考え　幸せを願えるよう**	」な暮らし
メンバー④	「	**千葉市に関わる人たち（住む・イベント参加・仕事・遊び・スポーツ…）**	」が	「 **ストレス・フリー**	」な暮らし

＜テーブル⑬＞



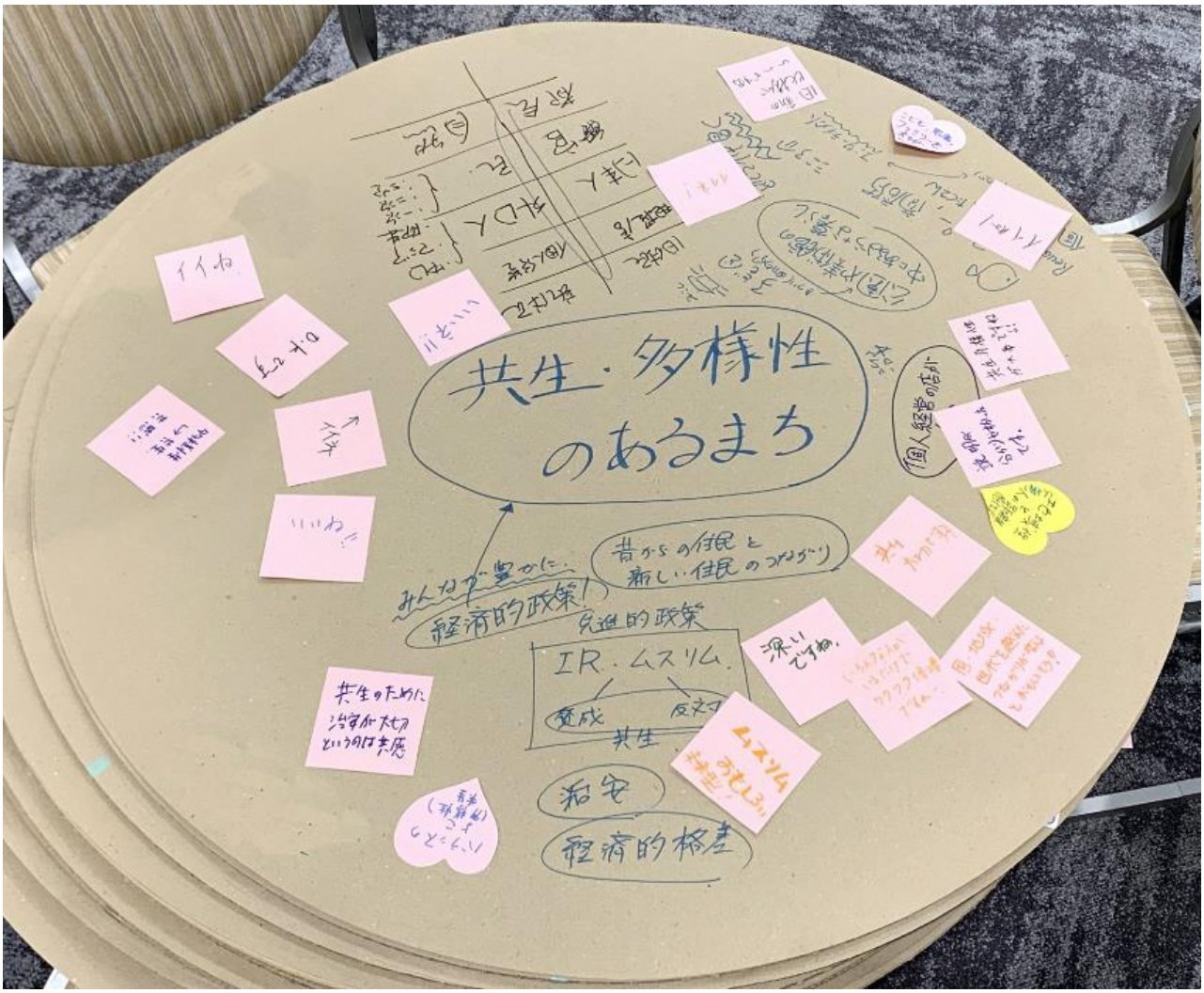
★テーブルメンバーに共通する 「私たちが望む『これから20～30年の千葉ライフ』」

住みやすい街（住みたい街）

★メンバー個人ごとの「自分が望む未来の千葉ライフ」

メンバー①	「	**すべての年代の人々**	」が	「	**住んで充実感や愉しさを共有できる豊か**	」な暮らし
メンバー②	「	**一人一人**	」が	「	**人間関係よく楽しんで**	」な暮らし
メンバー③	「	**子供（住む人）**	」が	「	**再度住みたい　観光にくる街（住民が増える）**	」な暮らし
メンバー④	「	**多様な世代、バックグラウンド，国籍の市民**	」が	「	**関わり合いながら楽しんで生活している**	」な暮らし

＜テーブル⑭＞



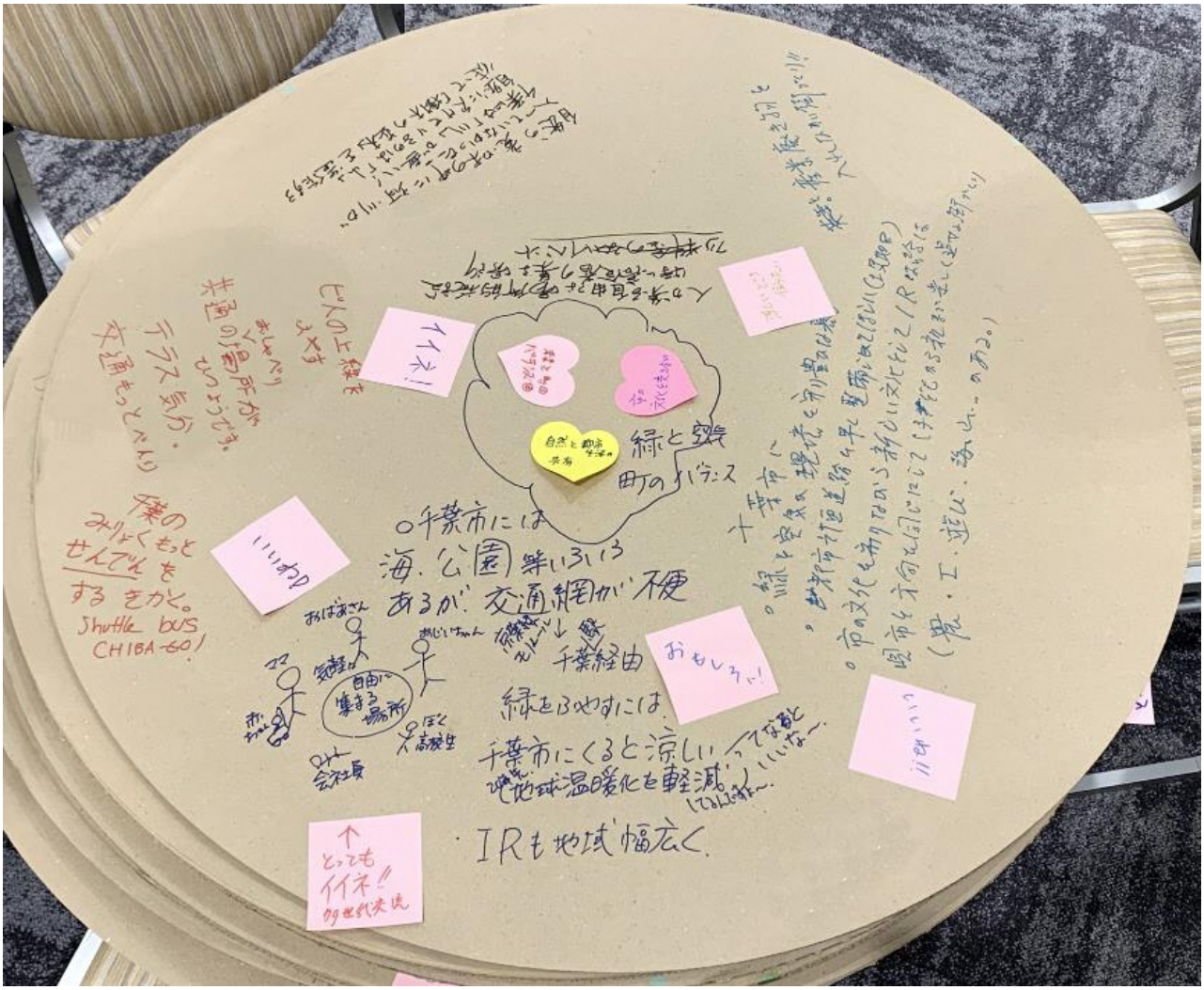
★テーブルメンバーに共通する 「私たちが望む『これから20～30年の千葉ライフ』」

共生・多様性のあるまち

★メンバー個人ごとの「自分が望む未来の千葉ライフ」

メンバー①	「	**市民全員**	」が	「	**仲良く楽しく　尊重できる（し合える）よう**	」な暮らし
メンバー②	「	**世界中の人々（多様性を認め合い、共生する）**	」が	「	**見たい、住みたい、働きたいと思うブランドのある**	」な暮らし
メンバー③	「	**子供・学生・社会人・高齢者（障害の有無問わず）**	」が	「	**すぐに要望が言えて、共生・多様性に向かえるよう**	」な暮らし
メンバー④	「	**まずみんなが仲良く暮らす**	」が	「	**次に、各自の個性と才能がキラキラ光るよう**	」な暮らし
メンバー⑤	「	**市民みんな**	」が	「	**それぞれの価値観や生き方を尊重し合うことのできる、心も経済的にも豊か**	」な暮らし

＜テーブル⑮＞



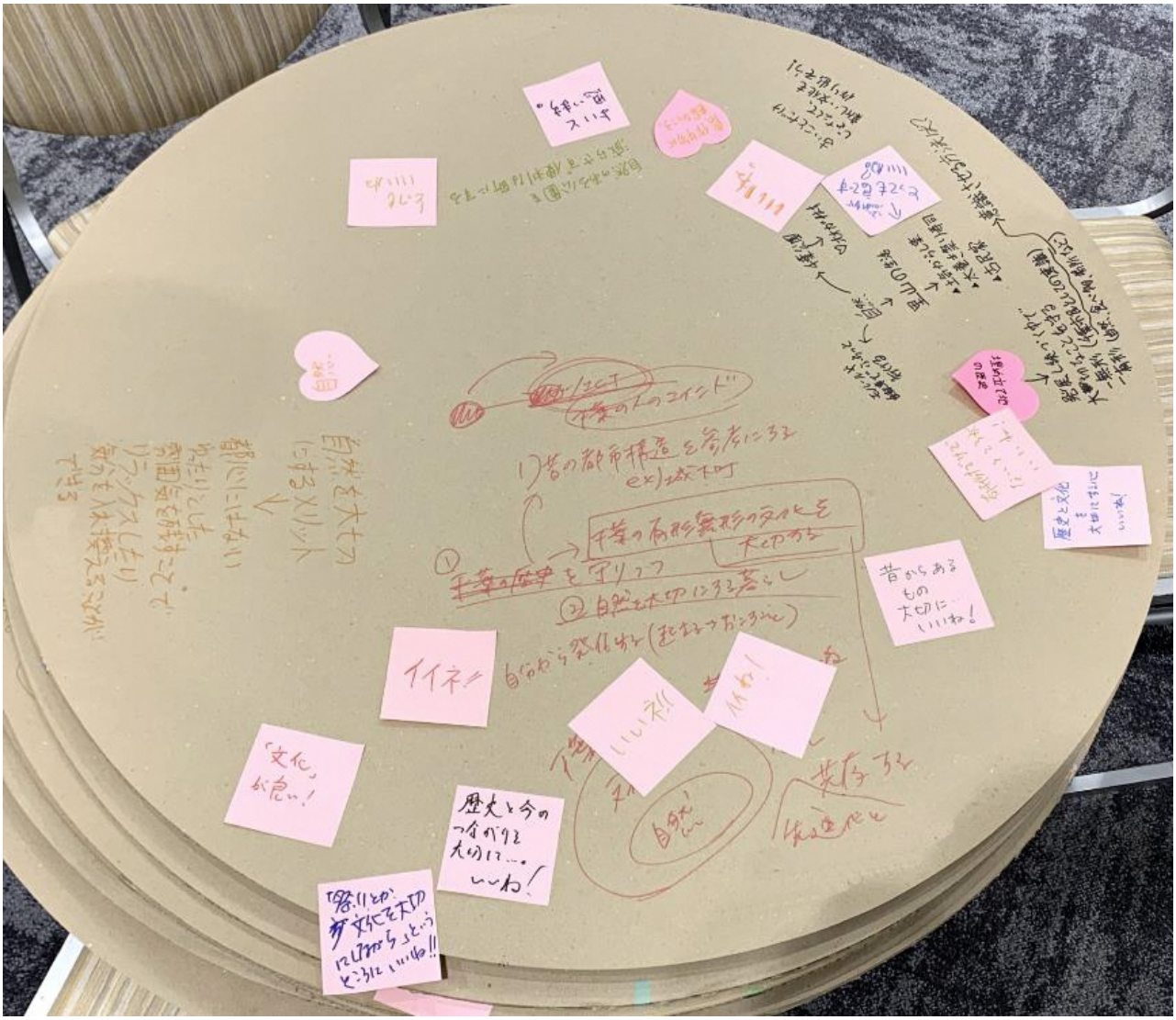
★テーブルメンバーに共通する 「私たちが望む『これから20～30年の千葉ライフ』」

緑と空気　町のバランス

★メンバー個人ごとの「自分が望む未来の千葉ライフ」

メンバー①	「	**千葉市民**	」が	「 **千葉市を活発に活動できる/緑や歴史，地域性を理解できている豊か**	」な暮らし
メンバー②	「	**夢のある、安全で安心して生活**	」が	「 **過せる　元気**	」な暮らし
メンバー③	「	**人と人（としよりから子どもまで）**	」が	「 **仲良く、楽しめる　緑ゆたか**	」な暮らし
メンバー④	「	**誰れも**	」が	「 **楽しく便利に豊か**	」な暮らし

＜テーブル⑯＞



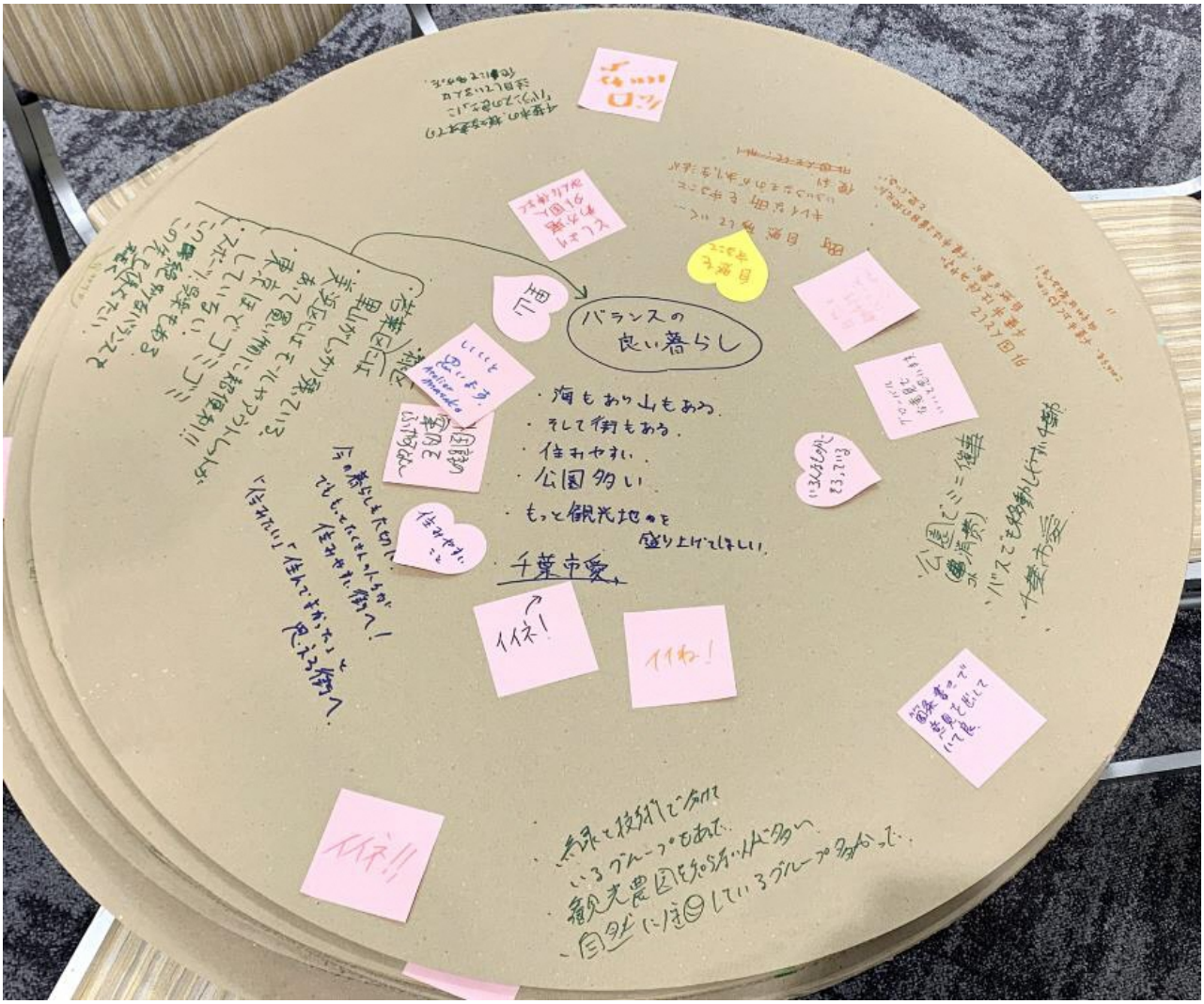
★テーブルメンバーに共通する 「私たちが望む『これから20～30年の千葉ライフ』」

有形無形の文化、自然を大切にする暮らし

★メンバー個人ごとの「自分が望む未来の千葉ライフ」

メンバー①	「	**自然と文化、歴史と先進技術**	」が	「	**共存できるよう**	」な暮らし
メンバー②	「	**千葉市に住む人**	」が	「	**自然を大切にする**	」な暮らし
メンバー③	「	**千葉市に住む全ての人（ジェンダーに捉われず/障碍者の方も）**	」が	「	**毎日を楽しく健康におくれる**	」な暮らし
メンバー④	「	**性別、障害の有無、国籍など問わず、全ての市民**	」が	「	**千葉市の歴史、自然の保全、発展等に積極的に携わりたくなる・携わることができる**	」な暮らし

＜テーブル⑰＞



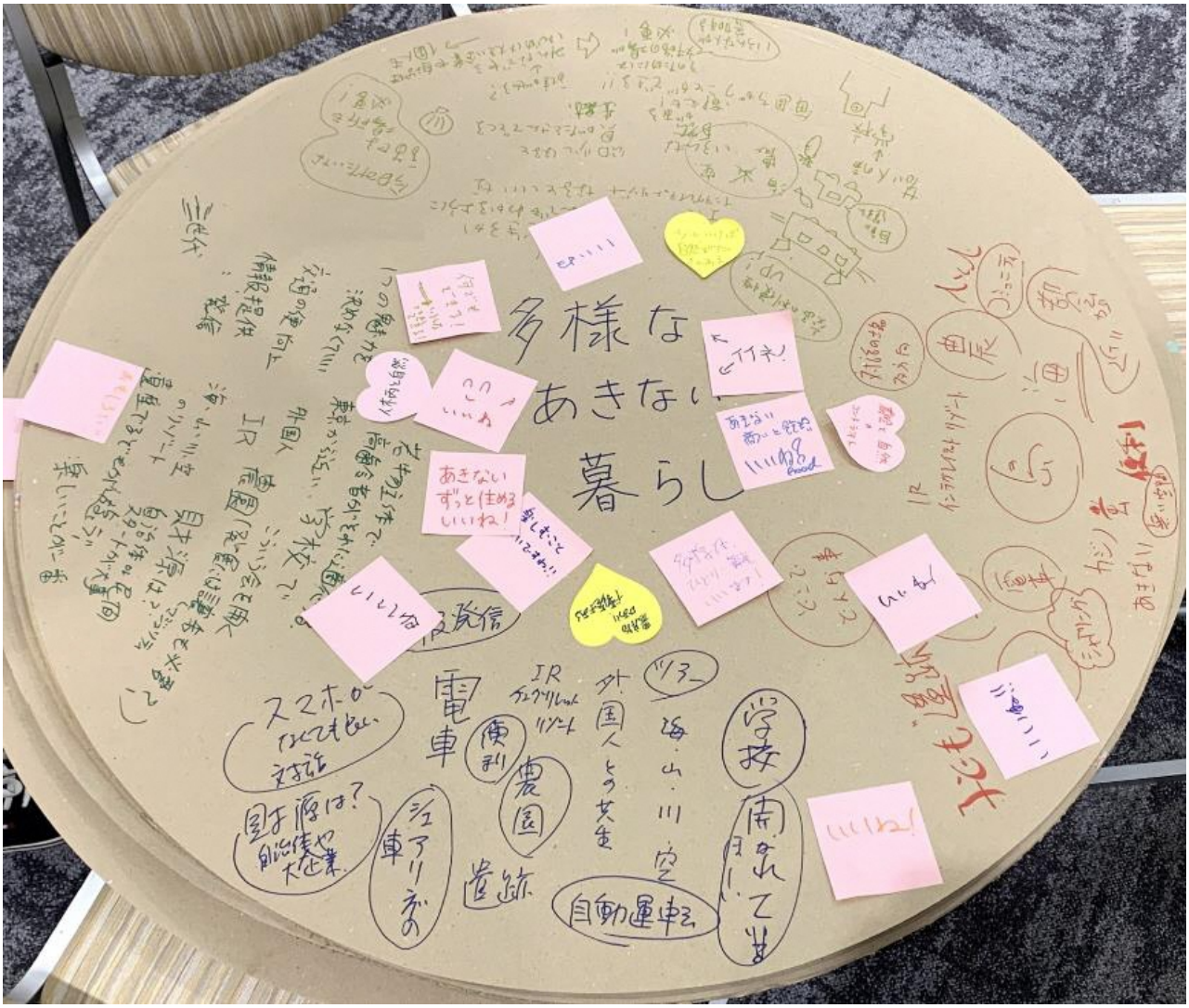
★テーブルメンバーに共通する 「私たちが望む『これから20～30年の千葉ライフ』」

バランスの良い暮らし

★メンバー個人ごとの「自分が望む未来の千葉ライフ」

メンバー①	「	**みんな**	」が 「	**豊か（自然、もの、サービス…）**	」な暮らし
メンバー②	「	**市民や通勤・通学者**	」が 「	**自発的に市のイベントなどに参加・企画しているよう**	」な暮らし
メンバー③	「	**だれも**	」が 「	**「住んでよかった」と思えるような**	」な暮らし
メンバー④	「	**今（2019時点）、若い人達**	」が 「	**希望をもって活躍できている（老人は二の次で良い）**	」な暮らし

＜テーブル⑱＞



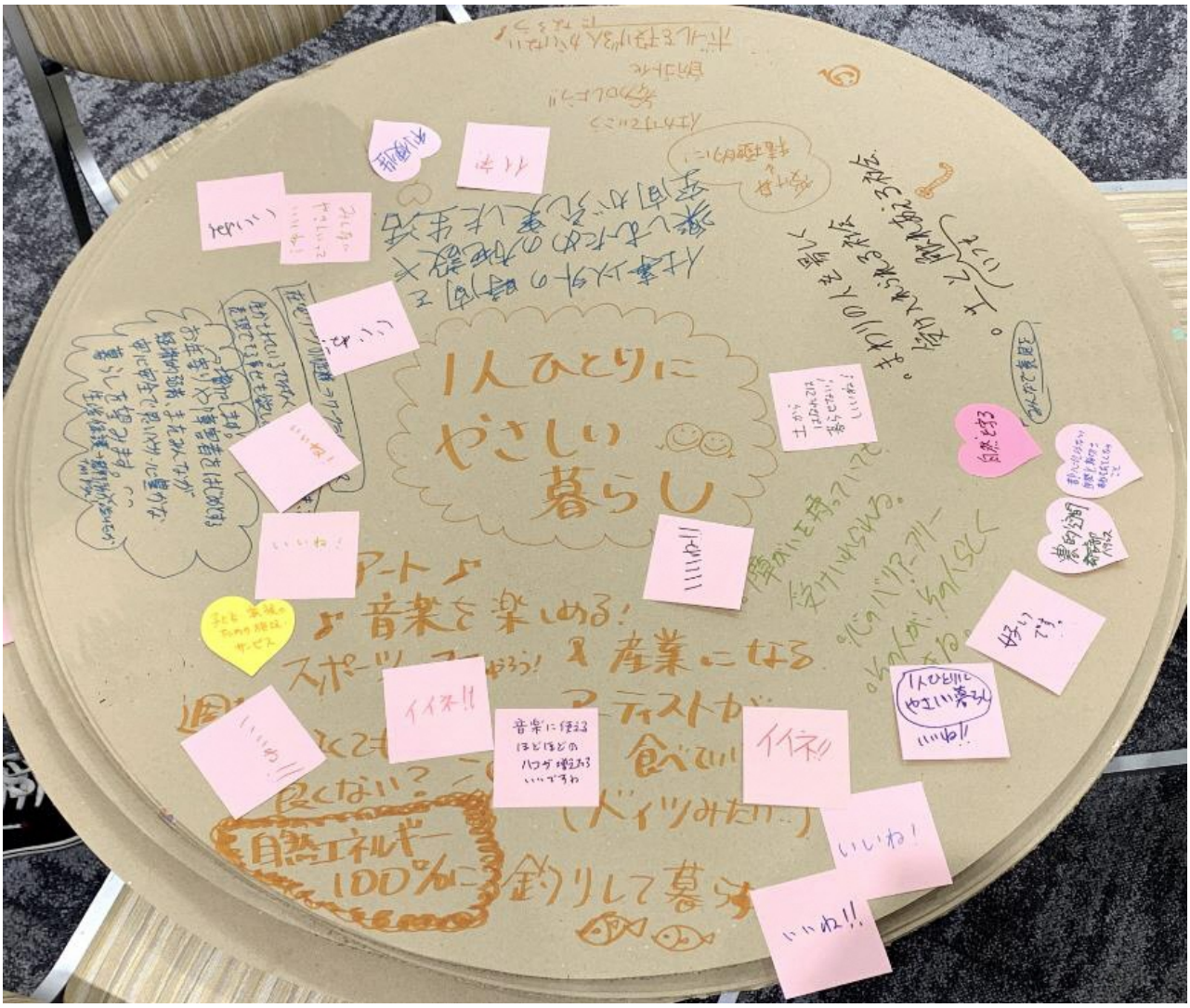
★テーブルメンバーに共通する 「私たちが望む『これから20～30年の千葉ライフ』」

多様なあきない暮らし

★メンバー個人ごとの「自分が望む未来の千葉ライフ」

メンバー①	「	**老若男女（特に高齢者と若者）**	」が	「	**お互いに意見を出して尊重し合い お互いのことを思えるよう**	」な暮らし
メンバー②	「	**いろんな立場の人**	」が	「	**自分で選んで幸せになれるよう**	」な暮らし
メンバー③	「	**多種多様なたくさんの人々**	」が	「	**豊かで幸せ**	」な暮らし
メンバー④	「	**地元の人も　移住してきた人も ひっくるめて皆**	」が	「	**多様性を活かし、飽きない商いが 継続可能**	」な暮らし

＜テーブル⑲＞



★テーブルメンバーに共通する 「私たちが望む『これから20～30年の千葉ライフ』」

ひとりひとりにやさしい暮らし

★メンバー個人ごとの「自分が望む未来の千葉ライフ」

メンバー①	「	**安全な食とエネルギー**	」が	「	**身近にあるサステナブル**	」な暮らし
メンバー②	「	**お年寄り、障害者をはじめ、みんな**	」が	「	**主体的かつ安心安全で思いやり心豊か**	」な暮らし
メンバー③	「	**一人ひとり**	」が	「	**仕事以外の時間を楽しむための心的・物的充実した**	」な暮らし
メンバー④	「	**一人ひとり**	」が	「	**生きてて良かったと思える**	」な暮らし
メンバー⑤	「	**1人ひとりに**	」が	「	**優しい**	」な暮らし

＜テーブル⑳＞

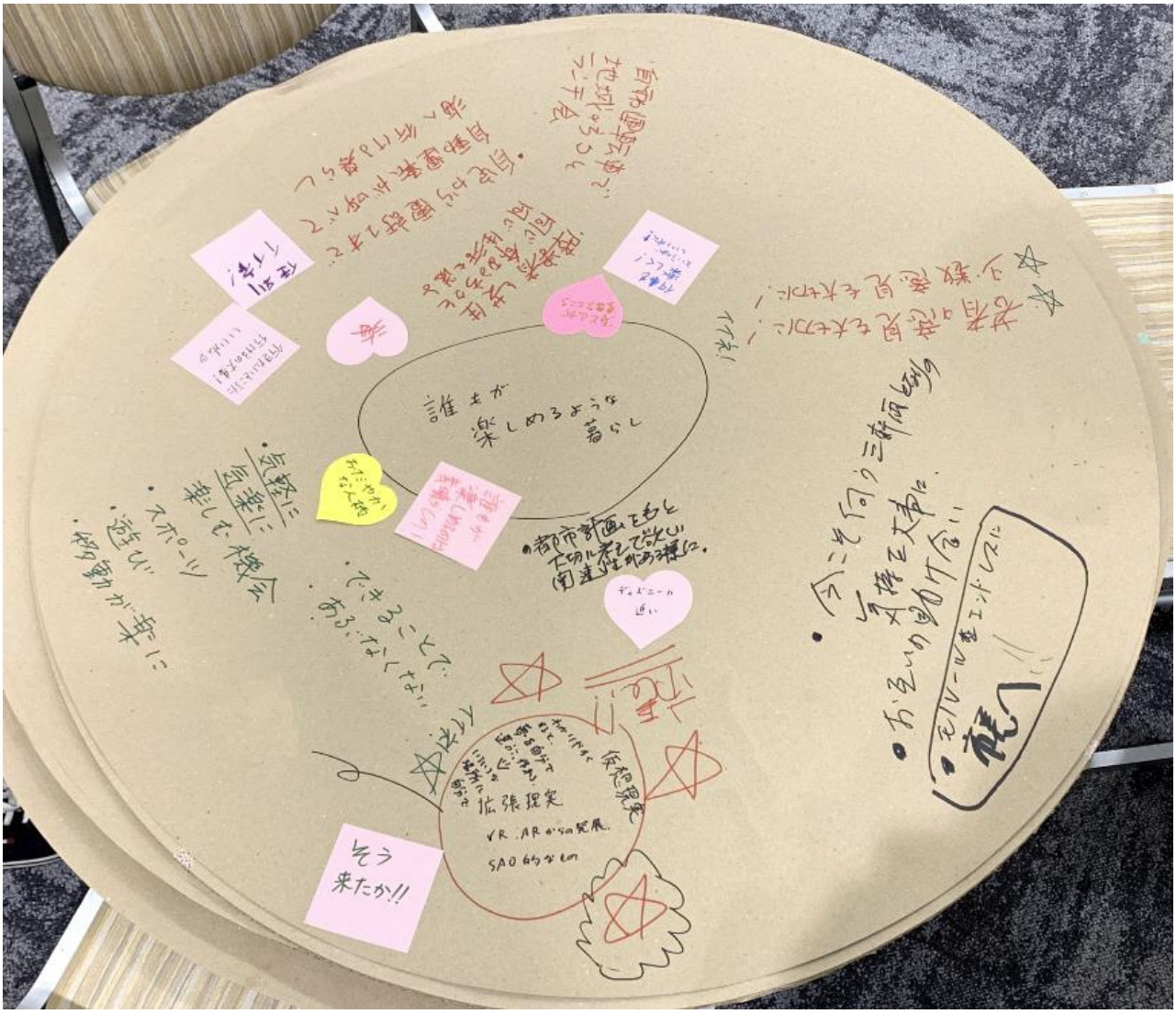
★テーブルメンバーに共通する 「私たちが望む『これから20～30年の千葉ライフ』」

自然が支える人間らしい暮らし

★メンバー個人ごとの「自分が望む未来の千葉ライフ」

メンバー①	「	**世代を超えたみんな**	」が	「	**一緒に楽しめるよう**	」な暮らし
メンバー②	「	**多世代・多様な背景の人々**	」が	「	**話しあい、助けあい、笑顔で過ごせる様**	」な暮らし
メンバー③	「	**自然ゆたかな町**	」が	「	**楽しげ**	」な暮らし
メンバー④	「	**多世代**	」が	「	**交流し合って、地域の特性を伸ばしていく様**	」な暮らし

＜テーブル㉑＞



★テーブルメンバーに共通する 「私たちが望む『これから20～30年の千葉ライフ』」

誰もが楽しめるような暮らし

★メンバー個人ごとの「自分が望む未来の千葉ライフ」

メンバー①	「	**誰も**	」が	「	**障害の有無に関係なく平和**	」な暮らし
メンバー②	「	**ひとりひとり**	」が	「	**気楽に　様々なことを選択できる 楽しそう**	」な暮らし
メンバー③	「	**全ての人**	」が	「	**不自由なく、楽しく生活が送れるよう**	」な暮らし
メンバー④	「	**人の助け合い**	」が	「	**気楽に出来る様**	」な暮らし
メンバー⑤	「	**子供（～高校生）**	」が	「	**安心して、元気に遊び　大人へと 成長できるよう**	」な暮らし

＜テーブル㉒＞

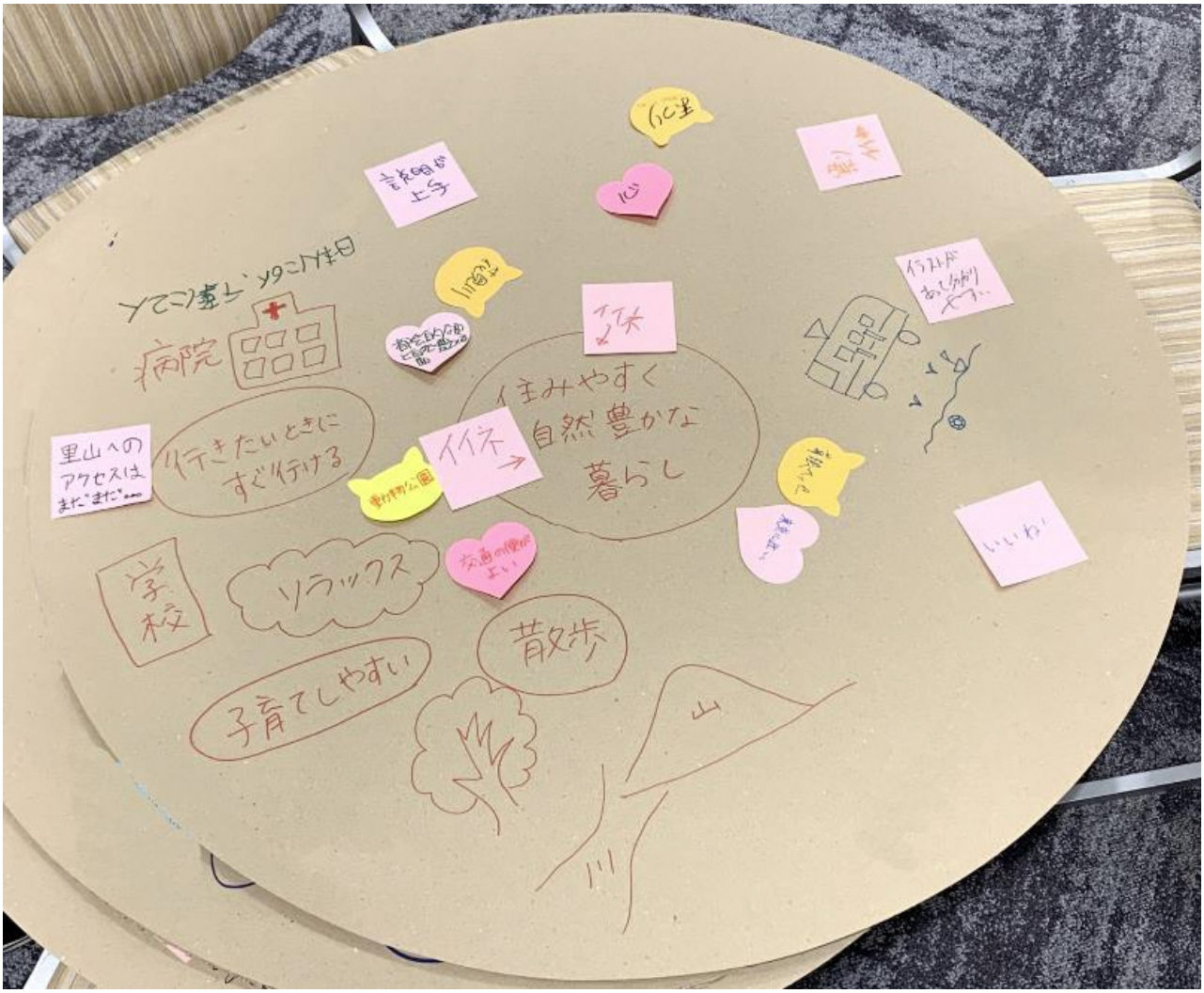
★テーブルメンバーに共通する 「私たちが望む『これから20～30年の千葉ライフ』」

人と人　人と自然が調和した暮らし

★メンバー個人ごとの「自分が望む未来の千葉ライフ」

メンバー①	「	**様々な領域の人**	」が 「	**調和し、協働できる**	」な暮らし
メンバー②	「	**人と人　人と自然**	」が 「	**調和した　ロハス**	」な暮らし
メンバー③	「	**いろいろな世代の人々**	」が 「	**自然と調和したおだやか**	」な暮らし
メンバー④	「	**人と人　人と自然**	」が 「	**調和した、心ゆたか**	」な暮らし

＜テーブル㉓＞



★テーブルメンバーに共通する 「私たちが望む『これから20～30年の千葉ライフ』」

住みやすく　自然豊かな暮らし

★メンバー個人ごとの「自分が望む未来の千葉ライフ」

メンバー①	「	**あらゆる世代**	」が 「	**自由に生きられるよう**	」な暮らし
メンバー②	「	**どの世代も障害の有無にかかわらず誰も**	」が 「	**生き生きと楽しく**	」な暮らし
メンバー③	「	**千葉市に住む人達**	」が 「	**住みやすく、心豊か**	」な暮らし

＜テーブル㉔＞

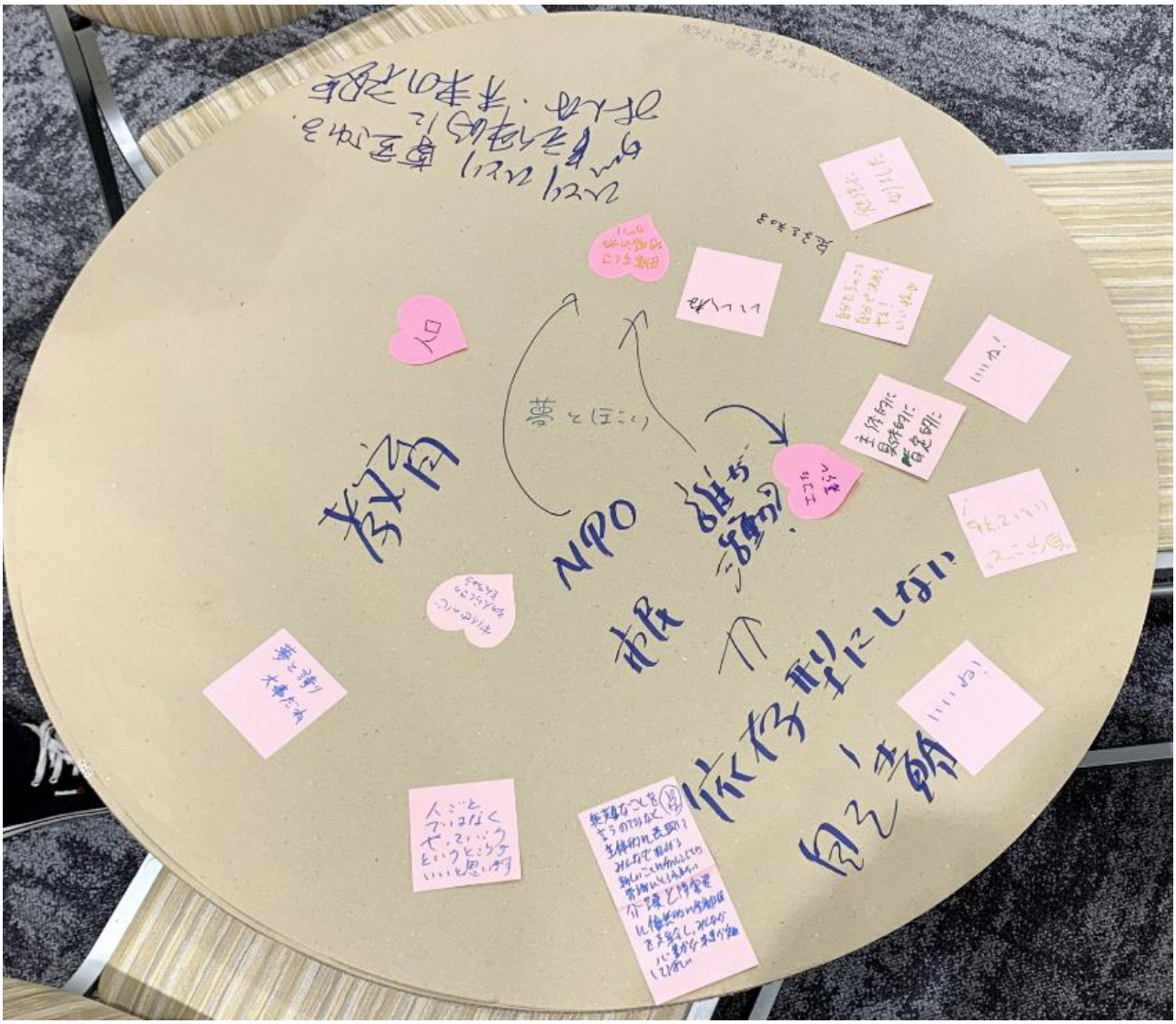
★テーブルメンバーに共通する 「私たちが望む『これから20～30年の千葉ライフ』」

世代がつづいていくくらし

★メンバー個人ごとの「自分が望む未来の千葉ライフ」

メンバー①	「	**千葉市をきっかけにして 県→日本→世界**	」が	「	**世代やすべてをこえて つながり続いていく　わくわくする**	」な暮らし
メンバー②	「	**年令、性別、国籍問わず 千葉市に住む人**	」が	「	**それぞれ尊重しあって　ゆとりをもって　つながりをもって　過ごせるよう**	」な暮らし
メンバー③	「	**三世代**	」が	「	**バラバラにならないよう**	」な暮らし
メンバー④	「	**親子三代**	」が	「	**春夏秋冬　健康で明るく生活**	」な暮らし

＜テーブル㉕＞



★テーブルメンバーに共通する 「私たちが望む『これから20～30年の千葉ライフ』」

夢とほこり

★メンバー個人ごとの「自分が望む未来の千葉ライフ」

メンバー①	「	**他人の話の聞き方**	」が	「 **肯定的　協働的　創造的**	」な暮らし
メンバー②	「	**千葉市だけ**	」が	「 **人口が減らずに物や金が動き続くよう**	」な暮らし
メンバー③	「	**夢とほこりを持って**	」が	「 **心ゆたか**	」な暮らし
メンバー④	「	**子どもたちが**	」が	「 **家族を持って生活する　幸せな**	」な暮らし

Ⅲ　参加者アンケートの結果

１．アンケート実施概要

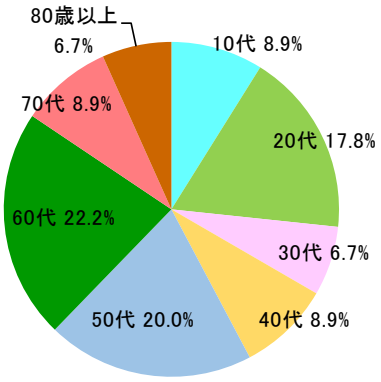
①調査時期　：　2019 年 8 月 7 日～8 月 16 日
②調査対象　：　「千葉市 100 人未来会議」の参加者 102 名
③調査方法　：　電子メールによる配信・回収、及び郵送配布・回収
④有効回答数：　４５人
内訳　千葉市内在住者　：３８人
千葉市外在住者　：　７人

２．アンケート集計結果

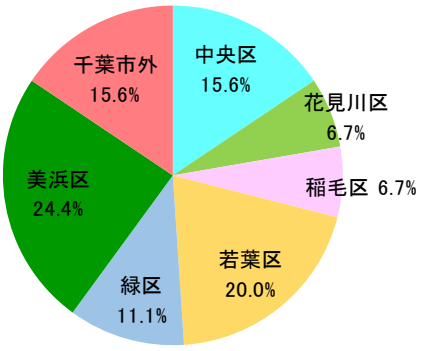
（１）アンケート回答者の属性（Q1～Q3）

		件数	構成比	（参考）参加者人数
全体		45	100.0%	102
年齢別	10代	4	8.9%	16
	20代	8	17.8%	22
	30代	3	6.7%	8
	40代	4	8.9%	14
	50代	9	20.0%	19
	60代	10	22.2%	13
	70代	4	8.9%	5
	80歳以上	3	6.7%	5
居住地別	中央区	7	15.6%	23
	花見川区	3	6.7%	9
	稲毛区	3	6.7%	13
	若葉区	9	20.0%	11
	緑区	5	11.1%	10
	美浜区	11	24.4%	21
	千葉市外	7	15.6%	15
職業別	自営業・家族従業者	1	2.2%	
	会社員・公務員等	17	37.8%	
	自由業	3	6.7%	
	パート・アルバイト	3	6.7%	
	学生（高校生以外）	5	11.1%	
	高校生	4	8.9%	
	専業主婦・主夫	5	11.1%	
	無職	5	11.1%	
	その他	2	4.4%	

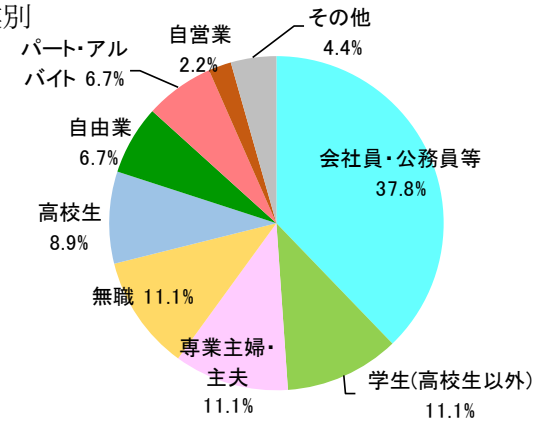
■年齢別



■居住地別



■職業別



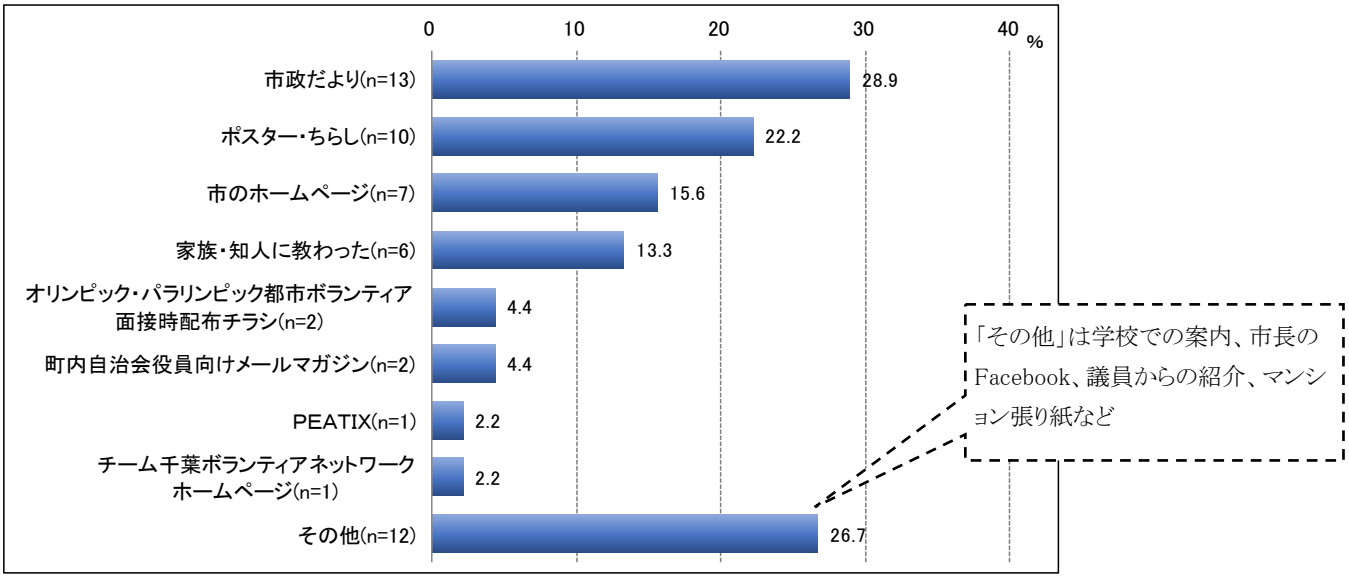
（２）「千葉市 100 人未来会議」開催情報の入手経路（Ｑ４）

Ｑ４　「千葉市 100 人未来会議」をどのようにして知りましたか？（複数回答）

◆「市のホームページ」や「ＰＥＡＴＩＸ」等のインターネットを使った情報以上に、「市政だより」や「ポスター・ちらし」などの紙媒体での情報発信を通じて会議を知った方が目立ちました。

◆特に 60 代以上の年齢層では「市政だより」を通じて会議を知った方が多くみられました。

■「千葉市 100 人未来会議」を知った方法（複数回答）【全体】



■「千葉市 100 人未来会議」を知った方法（複数回答）【年齢別】

（単位：件、複数回答のため各項目の合計は回答者数と一致しない）

	回答者総数	市のホームページ	PEATIX	町内自治会役員向けメールマガジン	チーム千葉ボランティアネットワークホームページ	市政だより	ポスター・ちらし	オリンピック・パラリンピック都市ボランティア面接時配布チラシ	家族・知人に教わった	その他
全体	**45**	**7**	**1**	**2**	**1**	**13**	**10**	**2**	**6**	**12**
10～20代	12	2	1	0	1	3	3	0	2	5
30～50代	16	3	0	0	0	3	4	1	3	5
60代以上	17	2	0	2	0	7	3	1	1	2

インターネット関連

紙媒体

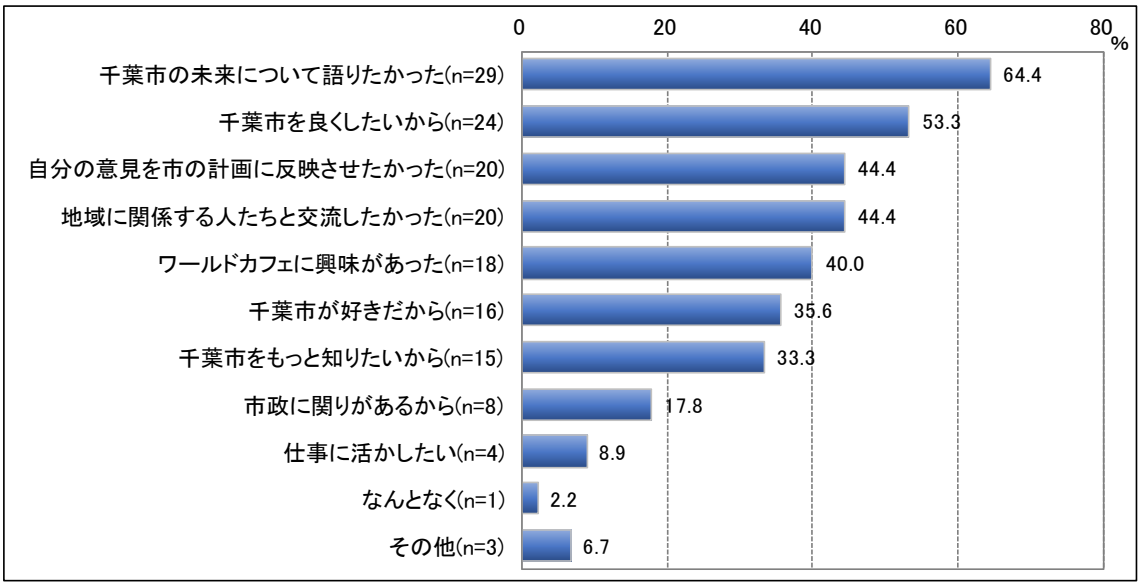
（３）「千葉市 100 人未来会議」参加理由（Ｑ５）

Ｑ５　「千葉市 100 人未来会議」に参加しようと思った理由は何ですか？（複数回答）

◆開催目的として掲げていたテーマでもある「千葉市の未来について語りたかった」を理由にあげた方が目立ちました。

◆年齢別では、10～20 代は「千葉市が好きだから」、「千葉市をもっと知りたいから」といった地元への関心・愛着に関連する回答割合が他の年代より高く、また、30～50 代は「千葉市の未来について語りたかった」や「千葉市を良くしたいから」など、未来志向の回答割合が他の年代より高い結果となりました。

■「千葉市 100 人未来会議」に参加しようと思った理由（複数回答）【全体】



■「千葉市 100 人未来会議」に参加しようと思った理由（複数回答）【年齢別】

（単位：件、複数回答のため各項目の合計は回答者数と一致しない）

	回答者総数	千葉市の未来について語りたかった	千葉市を良くしたいから	自分の意見を市の計画に反映させたかった	地域に関係する人たちと交流したかった	ワールドカフェに興味があった	千葉市が好きだから	千葉市をもっと知りたいから	市政に関りがあるから	仕事に活かしたい	なんとなく	その他
全体	**45**	**29**	**24**	**20**	**20**	**18**	**16**	**15**	**8**	**4**	**1**	**3**
割合	100.0%	64.4%	53.3%	44.4%	44.4%	40.0%	35.6%	33.3%	17.8%	8.9%	2.2%	6.7%
10～20代	12	7	7	7	7	4	5	7	3	1	1	1
割合	100.0%	58.3%	58.3%	58.3%	58.3%	33.3%	41.7%	58.3%	25.0%	8.3%	8.3%	8.3%
30～50代	16	12	10	5	5	9	6	5	1	3	0	1
割合	100.0%	75.0%	62.5%	31.3%	31.3%	56.3%	37.5%	31.3%	6.3%	18.8%	0.0%	6.3%
60代以上	17	10	7	8	8	5	5	3	4	0	0	1
割合	100.0%	58.8%	41.2%	47.1%	47.1%	29.4%	29.4%	17.6%	23.5%	0.0%	0.0%	5.9%

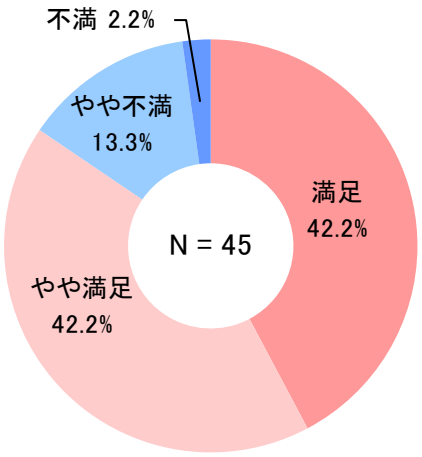
70%超　60～70%　50～60%　40～50%

（４）「千葉市 100 人未来会議」に参加した感想（Ｑ６）

Ｑ６－① 満足度とその理由を教えてください？

◆「満足」または「やや満足」と回答した方の割合は８割を超えました。
◆「満足」の理由としては、異なる世代との対話や、ワールドカフェ形式で多くの人と対話できたこと、相互によく聞くマナーを守って対話ができたこと等の回答がみられました。
◆「不満」または「やや不満」と回答した理由としては、時間に制約があり、参加者同士の対話が不十分であったことを指摘する回答がみられました。
◆年齢別では、10～20 代の満足度が相対的に高い一方、60 代以上では「不満」、「やや不満」と回答した方が約３割を占めました。

■「千葉市 100 人未来会議」の満足度【全体】



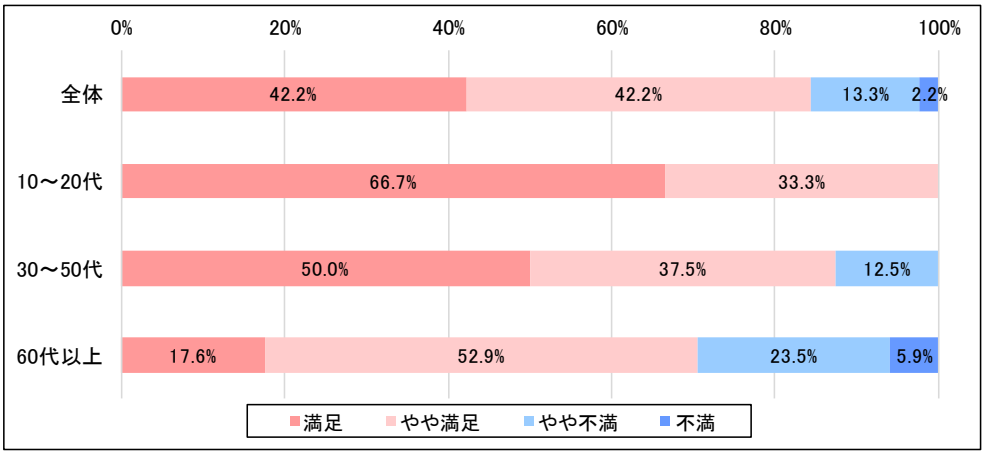
「満足」、「やや満足」と回答した理由（一部抜粋）

年齢	職業	満足度	理由
10代	高校生	満足	普段はあまり話さないような世代の方と話せて非常にためになった。千葉市の魅力について言葉に出して語ることで実感することが出来、良かった。
20代	学生	満足	多世代の方と同じ立場で意見を交わすことができ、大変貴重な機会となりました。ワールドカフェ形式であったので多くの方とお話することができたのも大変面白かったです。
50代	会社員・公務員等	満足	参加者が皆前向きで、自分語りに浸ったり他人の発言を否定するマナーの悪い人がおらず、皆よく話し、よく聞き、良い雰囲気でディスカッションができ、明るい気分で会場を後にすることができた。
80歳以上	自営業	やや満足	もう少し千葉市の未来について充実した検討の時間が欲しい。

「不満」、「やや不満」と回答した理由（一部抜粋）

年齢	職業	満足度	理由
30代	会社員・公務員等	やや不満	市民が主役のはずが、市民である話し合いは、煮詰まりきれていない所でストップしてしまっていて、せっかくの周りの素晴らしい意見が、より良くなったはずなのに勿体ない。
60代	無職	やや不満	時間が短くて伝えきれない事が多かったです。
70代	自由業	やや不満	ファシリテーターの結論誘導型で進められたので、どのグループも似たり寄ったりの結論になってしまった。未来の千葉市をどんな指標で評価すべきか？そんな議論も必要だったのでは？
70代	無職	不満	夢で終るとは思わなかった。

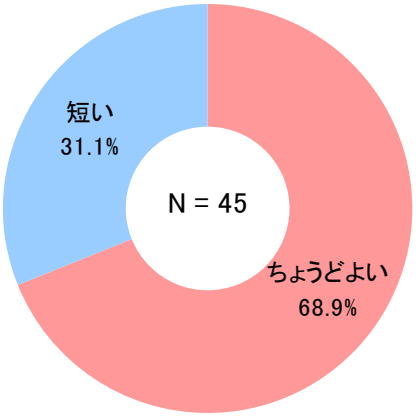
■「千葉市 100 人未来会議」の満足度【年齢別】



Ｑ６－② 話し合いの時間はいかがでしたか？

◆「ちょうどよい」が７割、「短い」が３割を占め、「長い」との回答はありませんでした。
◆「短い」と回答した理由としては、グループのメンバー全員が十分な発言時間を確保するためには今回の対話時間は不十分だった、という指摘がみられました。
◆年齢別では、どの階層も全体平均とほぼ同様の傾向を示し、大きな相違はみられませんでした。

■話し合いの時間の長さについて【全体】



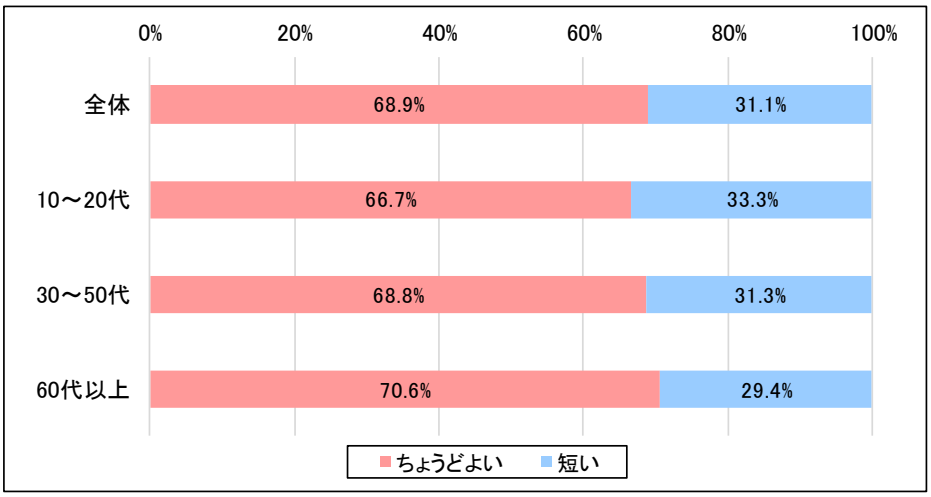
「ちょうどよい」と回答した理由（一部抜粋）

年齢	職業	理由
20代	学生	時間はちょうどよかった。疲れすぎもせず、しっかり話したと感じるタイミングで終了できた。
50代	専業主婦・主夫	無駄のない充実した時間だったと思います。司会進行も良かったです。
70代	自由業	各々が脱線せずに言うべきことのみを述べるには時間が足りないと思わせるようにした方が良いので、ちょうどよかったと思う。

「短い」と回答した理由（一部抜粋）

年齢	職業	理由
30代	会社員・公務員等	意見の交換に慣れている方と慣れていない方との差が大きいので、テーブルによっては、特定の方と話で終わってしまっていた。
50代	会社員・公務員等	1つのグループで、全員の発言が二巡するくらいの時間はほしかった。
60代	パート・アルバイト	グループ全員の意見を聞いている途中で席替えになってしまったことが何回かあった。

■話し合いの時間の長さについて【年齢別】

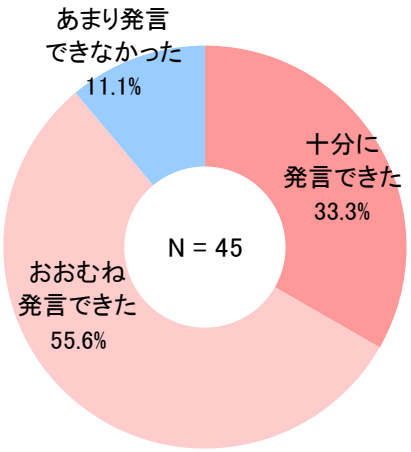


Ｑ６－③　自分の意見を十分に発言できましたか？

◆「十分に発言できた」と「おおむね発言できた」の合計割合は約 9 割に達し、ほとんどの参加者に「発言できた」と感じていただくことができました。

◆年齢別では、10～20 代は「十分に発言できた」との回答割合が全体平均の 2 倍に達し、若い年代の方が十分に発言できた様子が窺えます。

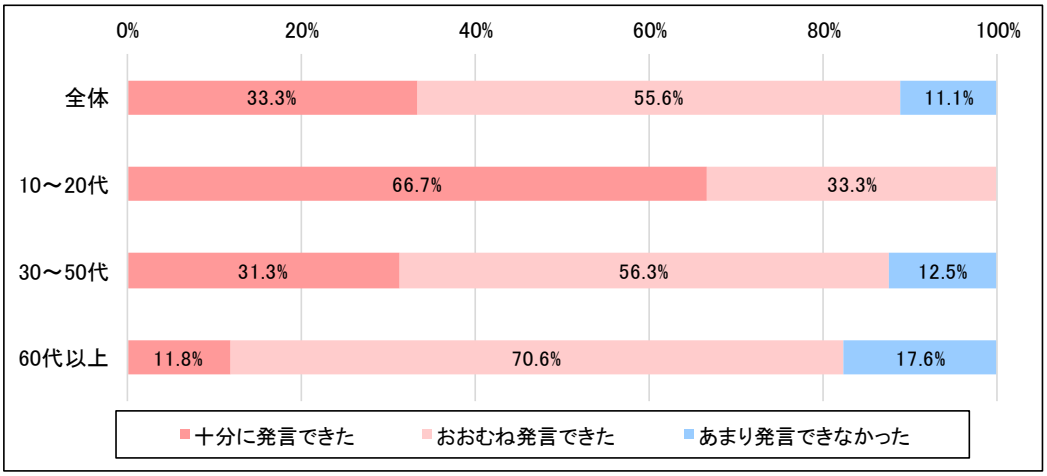
■自分の意見の発言について【全体】



「あまり発言できなかった」と回答した理由（一部抜粋）

年齢	職業	理由
30代	会社員・公務員等	生活保護を本当に必要としている所についての話が、あまり話せなかった。
60代	無職	話し下手なので
80歳以上	自営業	進行が速すぎた。

■自分の意見の発言について【年齢別】

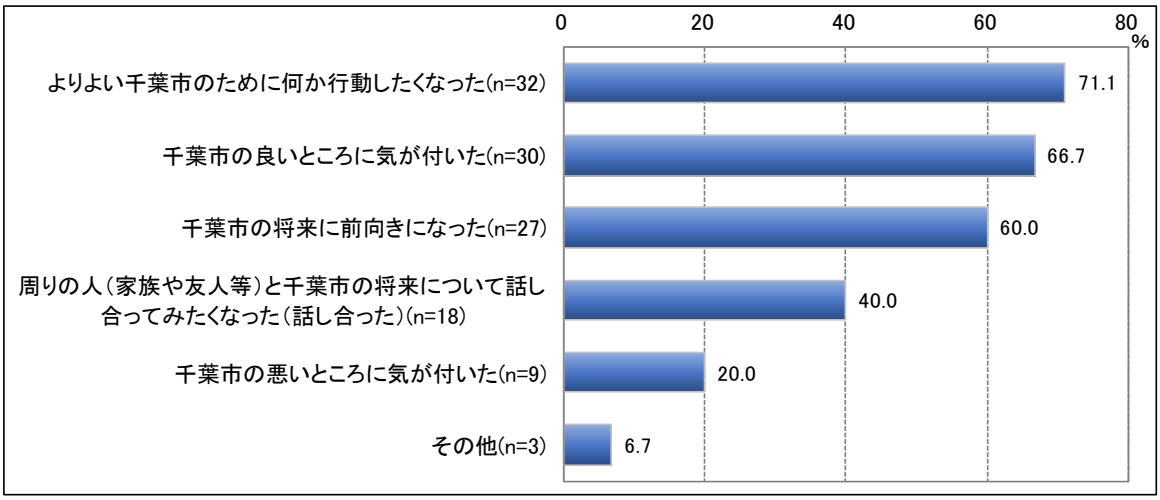


Ｑ６－④　参加中・参加したあとで、何か変化がありましたか？（複数回答）

◆「よりよい千葉市のために何か行動したくなった」、「千葉市の良いところに気が付いた」、「千葉市の将来に前向きになった」の３項目は６割以上の回答者が本会議による変化として挙げており、特に「よりよい千葉市のために何か行動したくなった」は７割を超え、自らが市政に関わる意識の高まりが窺えました。

◆年齢別では、10～20 代は「千葉市の良いところに気が付いた」と回答した割合が項目中でもっとも高く、他の年齢層との比較でも高い結果となり、地元の魅力を改めて見直す機会となったようです。

■参加中・参加後の変化について（複数回答）【全体】



■参加中・参加後の変化について（複数回答）【年齢別】

（単位：件、複数回答のため各項目の合計は回答者数と一致しない）

	回答者総数	よりよい千葉市のために何か行動したくなった	千葉市の良いところに気が付いた	千葉市の将来に前向きになった	周りの人と千葉市の将来について話し合ってみたくなった（話し合った）	千葉市の悪いところに気が付いた	その他
全体	**45**	**32**	**30**	**27**	**18**	**9**	**3**
割合	100.0%	71.1%	66.7%	60.0%	40.0%	20.0%	6.7%
10～20代	12	9	10	8	7	3	0
割合	100.0%	75.0%	83.3%	66.7%	58.3%	25.0%	0.0%
30～50代	16	11	11	11	4	2	2
割合	100.0%	68.8%	68.8%	68.8%	25.0%	12.5%	12.5%
60代以上	17	12	9	8	7	4	1
割合	100.0%	70.6%	52.9%	47.1%	41.2%	23.5%	5.9%

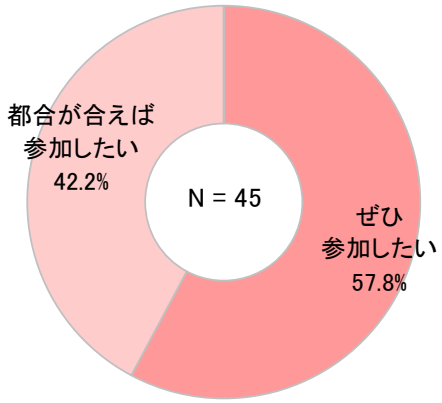
70%以上　60～70%　50～60%　40～50%

（５）今後の市民参加型イベント参加意向（Ｑ７）

Ｑ７　今後、こうした市民参加型イベントに参加したいと思いますか？

◆「ぜひ参加したい」が６割、「都合が合えば参加したい」が４割を占め、「参加したくない」との回答はありませんでした。
◆参加したいと回答した理由としては、市政へ関りたいとの希望や、市民同士の交流に対する期待を挙げたものが目立ちました。

■今後の市民参加型イベント参加意向【全体】



「ぜひ参加したい」と回答した理由（一部抜粋）

年齢	職業	理由
10代	高校生	このような市民参加型イベントがあると自分自身が実際に自らが住む市に関わっているという実感が持てるから。
20代	学生	日頃交わることのない多世代かつ多様な背景を持つ方と交流することは、自分自身にとって大変プラスになると実感したので今後も是非このようなイベントに参加したいです。
50代	会社員・公務員等	パブリックコメントでは独りよがりになる。公共的な話題で千葉市民同士が意見交換する場を増やしてほしい。
50代	会社員・公務員等	前向きな市民との話し合いが次のアクションにつながると思えたから。自分も前向きな気持ちになれたから。

「都合があえば参加したい」と回答した理由（一部抜粋）

年齢	職業	理由
50代	専業主婦・主夫	自分の思いが少しでも現実になる可能性に期待して参加したいです。
10代	高校生	いろいろな年代の方と話すのは良い社会勉強になるから。
70代	自由業	過去の経験が何らかの役に立つなら協力したい。
40代	その他	市民参加型の取り組みをもっと進めると、市政への関心が高まり、いいまちづくりにつながると思います。

（６）イベントに関する意見・感想（Ｑ８）

Ｑ８　その他、このイベントを通じて気づいたことやご意見・ご感想等について自由にご記載ください。

◆会議への評価・参加した感想に関しては、年齢や職業の異なるさまざまな立場の方々との対話が有意義であったとの肯定的な内容が目立ちました。
◆運営方法に関しては、時間の配分やテーマ設定についてさまざまなご意見をいただきました。

カテゴリー	ご意見・ご感想
会議への評価・参加した感想	✓ 楽しかったです。 ✓ 短い時間の中で色々な方と交流し言葉を交わすことでより多様性のある意見を聞くことが出来てとても楽しかったです。 ✓ （主催側の問い方に引きずられた？ 日本社会の全般的な風潮?）自分は「客」だから果実を享受するだけでよく、果実の育成は「自分でない」誰かがやってくれる（やればよい）という受け身な態度の発言が目立ったように感じました。 ✓ 通常のセミナーや講演形式ではなく、市民参加型の対話という方式が目新しく、中長期的に千葉市の将来を考えていく上で、よいきっかけになると思います。 ✓ 高校生から高齢の方まで、年齢層が幅広く、様々な考え方に触れることができたのがよかったです。今回出された意見が、計画にどのように反映されていくのか、楽しみです。参加させていただき、ありがとうございました。 ✓ こういう取り組みをぜひどんどんしていってほしい。市民の出会いの場、それも参加にお金のかからない場って必要だと思う。今回、高校生から高齢者まで、又、日本人だけではない人達が集ったことは、すごい意義があると感じた。私たちが千葉市を好きになれる企画だと思う。 ✓ 大変貴重な機会を頂きありがとうございました。これからは、誰かがやってくれるのを待ったり、他人事として捉えたりするのではなく、自分事として行動して行きたいと思います。このイベントがきっかけでとある取り組みを始めることになりました！自分に出来ることをこつこつと頑張りたいと思います。 ✓ このようなイベントに初めて参加させて頂きましたが、多くの方々が色々な思いや意見を持って参加されている事に共感しました。中でも具体的な考えが同じ方々がいらっしゃる事も知り、参加されている方々が前向きで積極的で希望が持てました。このような場をただのイベントでおわらない事に期待します。参加出来て良かったです。 ✓ どの人も積極的に話し合いを進め、私の話しも聞いてくださりとても楽しかったです。 ✓ とても良い経験になりました。ありがとうございました。千葉市にはいろんな人たちがいて、又、可能性のある市だと再認識致しました。 ✓ 100 人の人と話すというテーマに関心を持ち、応募しましたが、実に様々な人々が参加されていて、とても刺激的でした。

プログラム・運営方法について	✓ もう少しテーマを絞って話したかった。例えば、「自然が好き」という人と、「教育が好き」という人が同じ班にいると、「自然体験学習」のような、両者の中間をとらざるを得なくなり、議論が深まらない。最初のワールドカフェの後は、「自然」「歴史」「教育」…などのかたちで、テーマごとにグループ分けをしても良かったように思う。 ✓ 何を議論すべきか論点が明確にされていない今回のような会議は、ファシリテータの能力や、事務局の企画の良さに左右される。したがって、市役所の職員の啓蒙を図る場としても良かったのでは？と思う。自己研鑽も含めて、職員のレベルアップ、天才的人材の育成が期待される。 ✓ ファシリテーターの進め方は　素晴らしかった。 ✓ 席替えしたあとに自己紹介の時間がとれなかったのが少し残念でした ✓ 慣れたつもりの、司会者・仕切る人が、周りの気持ちを汲み取るのが下手だった。時間制限ばかり気にしていて、かつ市長の話だけはきっちり話す時間を取る。市民を馬鹿にしている感じが凄くした。 ✓ 前提となる課題を提示した方が議論の対象が出来て良いのでは‥ I wish ゲームのような短冊に書いてまるで囲ってやる方法は時間が無駄。私が在職中国際会議で一度やっただけで、あとはやらないことにした記憶がある。まとまらないから‥と、結論を導けないから。 ✓ 議論のテーマ次第ではあるが、1 グループの人数や、テーマ毎の設定時間に柔軟な対応をお願いしたい。 ✓ 会のスタート時の市長のオリエンテーションにおける誘導が気になった。「子育て」「家事の自動化」「クリエイティブ」への言及を控えていたこと。学生さんは自分の意見の主張にウェイトが置かれすぎている。中年は自分の活動に引きずられている。老年は過去にどっぷり。しかし、大方、若い子には優しい。彼らの聞く耳が大きくなること、老年のやさしさ。ここがポイント。中年は発信だけではなく、ブリッジを心がけることが大切。 ✓ ファシリテーターの方が少し喋りすぎていたのが気になりました。私も同じようなポジションをさせて頂くことがありますが、言葉を厳選して必要最低限とし、参加者の皆さんに多く話してもらうようにしております。 ✓ あまりにも沢山の人達だったのに時間が短かったのが残念でした。もっと運営側の方で、シャッフルするなど、時間も 1 日にするなどして欲しかった。
今後のイベント・市政等へのご意見	✓ 市政に関するイベントは年配の方が多いイメージですが学生や子育て世代も参加されていてとても良いと思います。是非、未来の話をする際には今回のように若い世代も参加できるような告知をお願いします。 ✓ 自分の住んでいる区をどれくらいアピール出来るか考えた。それぞれの区のツアーとかあったら面白いと思いました。 ✓ 今後とも定期的に続けて開催を希望します。 ✓ 「〇〇トリエンナーレのような美術イベントが出来れば、嬉しい」というのが言い忘れたことです。 ✓ 次回の、会議により具体的、今後の方針にそって企画されますよう期待しています。よろしくお願い致します。

	✓ これからはIT化に向けて自分の思っている以上に進むと思うので大きな革新が考えられます。①コンパクトシティーへの市県の考え。どんな方向へ進めるか。②I．Rについて市・県の考えと市民の声を入れての方向と進める取組み（経済界、市県、市民が豊かになる事業）③市民が常に言っていること。（1）市の地域性、商・産・農・魚・観光等バランスの取れた市は地域特性を生じた人間が暮らして行く全てのことが営まることが出来ます。（絵を描くことの取り組みをお願いします。）
運営事務・その他について	✓ 託児所を用意して頂いて感激しました。ありがとうございます。 ✓ 飲食持ち込み禁止とのことでペットボトルのお茶を配られましたが、会場内で飲んで良いのなら水かお茶は各自持参すればいいと思いました。 ✓ 名札の名前は分かりやすい名前が良いと思います。 ✓ この後第三期の市民シンクタンク事業に発展させていくとのことですが、第一期の参加者として一言申し上げると、メンバーの選定に際しては、コミュニケーション能力をよくよく見極めて頂くよう進言したい。でないと後々メンバー（事務局にも）に地獄のような負担がかかる。第三期に興味はあるが、第一期がトラウマになっており、もう二度と参加したくない。